

イハートブ

巻頭言・寄稿

県薬の動き・理事会報告
支部の動き
リレーエッセイ
会員の動き・求人情報

第10号
2008

編集・発行／社団法人岩手県薬剤師会 平成20年11月30日



早池峰神楽（花巻市大迫町）

早池峰山を霊場とする修験山伏によって伝えられ、600年以上前から、地域で舞い継がれてきた「大償神楽」と「岳神楽」の総称で、ユネスコの「無形文化遺産」国内候補となりました。12月中旬には今年最後の舞納めが行われる。

あなたの思いを、あなたの声で。



言葉にだして言ってみよう、
ジェネリック医薬品。

宮城県・岩手県でのご用命は、

東和薬品宮城販売株式会社

本社：宮城県仙台市宮城野区宮城野一丁目16番23号

奥州支店：岩手県奥州市水沢区大手町三丁目24番地

総合受付：TEL 0120-721-139 FAX 0120-727-139

towa-miyagi.co.jp

ジェネリック医薬品で未来をひらく



東和薬品

副会長を仰せつかって 一時間が足りない

岩手県薬剤師会

副会長 宮手 義和

(岩手県病院薬剤師会会長)

今年（平成20年）の4月から副会長をやりなさいとの話をいただいた時、病院薬剤師会の会長と掛け持ちでお引き受けして良いのだろうか戸惑いを感じましたが、途中多少の中断を含みますが昭和55年から理事として会運営に参加させていただいており、また、医薬品衛生検査センター移転新築の準備委員長の仕事が残っていたことから、周りの方々のご助力をいただきながらやっていたとお引き受けしました。そして、半年が過ぎましたが、県薬の場合は副会長という立場も、結構いろいろな仕事が無駄込んでくるんだなということを実感しています。常務理事の時は担当委員会が5つであったのが、副会長になり9つに増えてしまったことは誤算でした。また、会長の代理で出席が要請される行事があることも予定外でした。

しかし、今のところは皆さんの援助、尽力により何とか持ち堪えて（周りの方々から見ると不合格でしょうが）いるのが現状です。今回の巻頭言のこの原稿は、いろいろな行事と重なったことや締め切り日を1ヶ月勘違いしていたため提出日が遅くなり、編集委員会にはたいへんご迷惑をおかけしました。時間管理の難しさを改めて思い知らされました。

さて、自分はルーズであることを棚に上げて、ここでちょっと意地悪な質問です。皆さんは仕事を頼む時にはどちらの人に頼みますか？①いつも忙しい人、②周りから見ても余裕のある人（暇そうな人）。普通は当然②を選びますよね。余裕がある人は時間があり、すぐ了解してもらえそうですからね。ところが、私の経験から言えば、多くの場合、正解は①でした。私の周りには一人何役もこなしている人がたくさんいます。大学の先生は端から見ると優雅そうに見えますが、特に医歯薬系の場合、診療、教育、研究など非常に多忙で一般社会と比べても非常に激務です。仕事柄、そのような先生方に講演や文章執筆などをお願いするケースが多々ありますが、諾否の決断が早いこと、出来ない場合に代替の人を紹介していただ

ける場合が多いこと、文章執筆の場合には依頼者の予想より遙かに早く出来上がるケースが多いことなどを感じます。もちろん、その方の専門分野のことをお願いするのですから、早くても当たり前かもしれません。その理由として、もう1つ考えられることは、引き受けた仕事のほかにも多くの仕事があり、1つだけに時間を掛け過ぎてられないことから、引き受けた順に片っ端から片づける習慣が出来ていることがあげられます。また、依頼しても安心して居られることから、依頼も継続し経験がさらに増え、ますます、信頼が増すからでしょう。

一方、私のような中途半端な暇人から見ても余裕のある仕事をしている様に見える人たちに、同じような依頼をした場合、決断が遅い、出来ない言い訳が多い、期日に間に合わない、依頼自体が自然消滅するなど、余り良い思い出がありません。未経験が自信を無くさせ、さらに萎縮しているように見えます。

「暇な人に仕事を頼むな！」という諺表現を昔読んだことがあります。そのときは何のことやらと思いましたが、今、薬剤師会、病院薬剤師会の仕事をさせていただき、納得できる部分もあるようになりました。

世間も同じ目で薬剤師を見ていると思います。頼まれ事は積極的に引き受けましょう。経験は実力をつける大きな方法の1つですから。

もちろん、引き受けたら入念な準備を行う必要はあります。

「忙しい人にこそ仕事を頼め！」の仲間に薬剤師全員が入ることを願って。

お前はしっかり出来ているのか言われれば、原稿提出遅れからも判るとおり、全く不合格で、偉そうなことを言うなどのお叱りが聞こえそうですが、巻頭言の戯れ言とお許し下さい。

副会長任期を精一杯務めさせていただきます。皆様のご協力を重ねてお願いいたします。

★★★ もくじ ★★★

巻頭言 岩手県薬剤師会		支部の動き.....18
副会長 宮手義和.....1		検査センターのページ.....20
在宅への取組みとそこから得たもの.....3		質問に答えて.....22
日薬学術大会に参加して.....7		知っておきたい医薬用語.....24
理事会報告.....8		気になるサプリメント.....25
会務報告.....9		リレーエッセイ.....26
受賞おめでとうございます.....10		職場紹介.....27
第59回東北薬剤師会連合大会が		話題のひろば.....28
開催されました.....12		会員の動き.....30
第50回県立病院薬学会記念講演会が		保険薬局の動き.....33
開催される.....13		求人情報.....33
岩手県立病院薬剤師会が		図書紹介.....35
平成20年度岩手県営医療貢献賞を受賞.....13		お知らせ.....36
委員会の動き.....14		編集後記.....37
保険薬局部会から.....16		

指定医薬品・処方せん医薬品（注意—医師等の処方せんにより使用すること）
経皮吸収型・気管支拡張剤 薬価基準収載

ツロブニスト[®]テープ
0.5mg・1mg・2mg
ツロブテロール貼付剤

指定医薬品
ロイコトリエン受容体拮抗剤—気管支喘息治療剤— 薬価基準収載

برانلカストDS
10%「タカタ」
シロップ用برانلカスト水和物

指定医薬品・処方せん医薬品（注意—医師等の処方せんにより使用すること）
マクロライド系抗生物質製剤 薬価基準収載

クラリスロマイシン錠
200mg「タカタ」・小児用50mg「タカタ」
日本薬局方 クラリスロマイシン錠

指定医薬品・処方せん医薬品（注意—医師等の処方せんにより使用すること）
マクロライド系抗生物質製剤 薬価基準収載

クラリスロマイシンDS
小児用10%「タカタ」
シロップ用クラリスロマイシン

TAKATA

安心品質

安定供給

安全情報

私たちの「ジェネリック医薬品」には、3つのAがあります。

*効能・効果、用法・用量、警告、禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

【注文・流通に関するお問い合わせ窓口（営業管理課）】 TEL:048-622-2516 FAX:048-623-3065 eigyou@takata-seiyaku.co.jp
【くすりに関するご相談・お問い合わせ窓口（学術課）】 TEL:048-622-2617 FAX:048-623-3065 gakujiutsu@takata-seiyaku.co.jp

私たち高田製薬は常に患者様の服薬コンプライアンスを向上させた医薬品、医療従事者の使用利便性を向上させた医薬品、また、医療過誤リスクの低い医薬品などの高付加価値を有する医薬品の開発を目指しています。私たちがつねに大切にしていること。それは「信頼」です。長年培ったノウハウと、時代を見越したオリジナリティあふれる製品で、これからも人々の健康に貢献していきます。

信頼で選ばれるジェネリック医薬品

高田製薬

<http://www.takata-seiyaku.co.jp>

在宅への取り組みとそこから得たもの

ハロー薬局 中田 義仁・石田 昌玄・内山 智美

はじめに

釜石圏域の高齢化は、平成17年に30.4%となっており、全国や県と比較して高い推移で進んでいます。介護保険施行（平成12年4月）と同時に薬剤師による訪問指導「居宅療養管理指導」が点数化され、薬剤師は薬局内だけでなく、患者宅にて医薬品に関わることが求められるようになってきております。平成20年4月版岩手県保健福祉計画保健医療編の中での在宅医療の提供体制の充実では「休日、夜間における処方せん受け入れ薬局の体制整備を促進するとともに、在宅医療を行う診療所や訪問看護ステーションとの連携による、訪問薬剤管理指導業務を推進します。」と課題に挙げられております。薬剤師による在宅訪問が進んでいない原因はマンパワー不足のほかにもあると考えられます。当薬局では約8年前より毎月20件ほど在宅訪問を実施しており、その経験から在宅訪問に関わることとそこから得られた私共の考える薬剤師のあるべき姿を報告したいと思います。

訪問する前に

訪問指導は在宅患者訪問薬剤管理指導（医療保険 届出必要）と居宅療養管理指導（介護保険 みなし指定）に分かれます。患者が介護認定（要

支援、要介護）を受けている場合は居宅療養管理指導が優先となり介護保険に指導項目を保険請求となります。うっかり医療保険に請求してしまうことが多いので十分気をつけてください。薬局揭示義務のほかに患者と薬局での契約事項もあります。

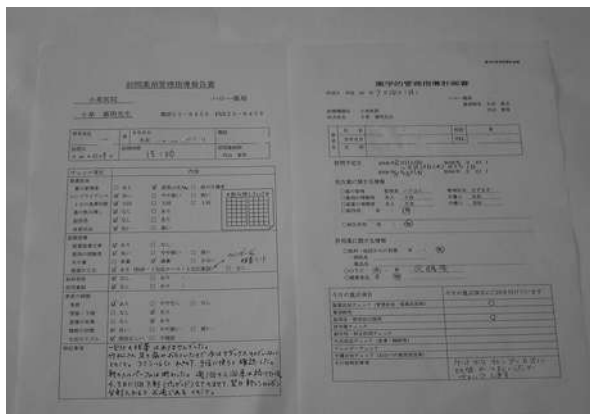


重要事項説明書

在宅訪問までの流れを含めこれらは日本薬剤師会ホームページの会員ページに分かりやすく掲載されていますので参考にすると良いでしょう。釜石薬剤師会では勉強会開催を考えましたが、実際に薬剤師会員が患者宅へ訪問する前に教わるほうが効果的と考えて、既に実施している薬局で研修する方法をとりました。

最初が肝心

処方せんを受取り患者宅へ伺ったらまず実践したほうが良いことは、薬剤師が訪問して何をするのか具体的に示すことです。ポイントは、ただの薬の配達ではないことをしっかり説明することです。今でも薬の配達という認識でいる患者宅があり、そのような場合、薬剤師が本来行うべき、服薬状況の確認、必要な指導、併用薬の有無、生活状況、介護状況などの観察がしにくくなります。特に同居している家族がいる場合には、家族の方にもしっかりと説明し理解を得ましょう。在宅訪問



計画書と報告書

をきっかけとして初めて接する患者宅では信頼関係を築くのにかかる時間がかりますが、第一印象は大切です。最初に悪い印象を与えないように気を付けましょう。何か不安なこと、分からないことなどあれば、いつでも聴きますよという姿勢を示すことが大切だと思います。

患者宅にて



写真の患者宅（写真3）では、旦那さんが80代でほぼ寝たきりになる前から奥さんが薬の管理、食事の世話など家事のほとんどを行っていました。いわゆる老老介護で、二人とも薬は1包化してお薬整理ケースにセットしてお渡ししていましたが、訪問しているうちに、飲み残しや、薬が足りないと電話がかかってくる頻度が増えました。どうやら飲み忘れ、飲み間違いを起こしていたので、1週間のカレンダーシートに日付を記入した分包紙を入れて部屋の壁にピンで留めて、その日の日付の薬を飲むようにと指導したところ、コンプライアンスは改善されました。奥さんは旦那さんが寝たきりになったことで更に身の回りの世話が大変になり、訪問するとよく愚痴をこぼしております。また高齢者は同じ昔話を話しますが嫌がらず初めてのような顔をして聞いております。色々と話し相手になってあげるのも大切な役割のひとつだと思っています。それだけじっくりとお付き合いした在宅の患者さんが亡くなったときなどはとても寂しい気持ちになりますが、後で家族の方から「今まで色々とお世話になりました。あなたが来て話をするのを楽しみにしていましたよ。」と感謝の言葉を頂くと、ちょっとした苦労も報われます。また、外来の患者さんと接する時でもできるだけ心を開いて、患者さんの色々な背景を理解した上でそれぞれの患者さんが望む生活を送れるよう

に他の医療関係者の方、ヘルパーさん、患者さんと一緒に考えていこうと思っています。

外来患者での認知症

高齢者の場合他科受診や長期処方が増加などで薬を管理できていないケースが多々見受けられます。患者との会話の際には認知症と判断できなく、薬を処方通り飲んでいてと思い込んでいて、コンプライアンス良好と薬歴に記載していることがありますが、あるイベントでそれが間違いだったと気がつかされたことがあります。その症例と対応を紹介します。

＜症例1＞ 83歳男性。アマリールとベイスンを長いこと服用していた。血糖値が上昇し、インスリン注射が併用となる。インスリン注射の方法を確認している時に「あれ？ちょっとおかしいな」と思い、患者宅にて説明することとした。自宅へ行ったらなんと大量のアマリールがでてきた。処方医へ連絡したらインスリン療法は中止となり、その後は1包化にてコンプライアンスが向上している。

＜症例2＞80歳女性。消化器科60日、整形35日、脳神経外科35日と処方されていたある日を境に頻繁に薬局に来るようになった。要は自分で薬の管理ができなく???の状態でご迷惑な言い出せなかったが、あるとき薬剤師がそのことに気がつく。家族は本人任せで、頼りはかかりつけ薬局のみ。そこで全ての薬を薬局で預かり1週間ごと1包化して1週間カレンダーシートに入れてお渡しした(写真1)。患者は大いに喜んですっきりしてにこにこ顔。近くの患者なので月曜日の朝になるとカレンダーシートをもって薬局へ来てくれている。



カレンダーシート

＜症例3＞ 84歳女性。降圧剤のほか不眠のためサイレースとハルシオンを併用している患者。眠剤のみ足りなくなり他の薬はどうしても余ってしまう。独居で認知症のため介護サービスを進めるが本人はどうしても行きたくない。処方医と相談し1ヶ月処方方を1週間処方とし、薬局特製カレンダーの1包化方式（写真8 間違い防止目的で分包紙のわくに色を塗っています）として自宅へ届けることとした。その後は眠剤を多く服用することなくコンプライアンスも改善した。



（写真8）

みなさんもこう言ったケースは結構あると思います。介護認定審査会に数年審査員としてでておりますが、調査票の「薬の管理が出来ない」という項目に、要支援レベルでもチェックがついているケースが見受けられます。薬局ではそのような患者を発見すべく工夫はしていると思いますが、なかなか難しいですね。「あれ？」と思ったら、上手に話して患者宅へ訪問するのもひとつの手です。

老人施設

老人施設の場合皆さんの薬局ではどうしていますか？当薬局では、今までは調剤中心でしたが、患者に関わるようにしております。薬を管理しているのは本人でなく施設側なので、コンプライアンスに問題はないのですが、薬剤師の専門知識を加え、副作用の発見は当然のこと、より良い服用が可能となるよう努めています。そのひとつが簡易懸濁法です。胃ろうや嚥下困難の患者には粉砕がより適していることが多いのですが、処方医や看護師、ヘルパーからは面倒と思われ反応がひとつです。繰り返し説明し取り入れてもらって

います。また、薬は多くの剤形が存在しますので、患者に合わせた薬を提案できます。施設を訪問し患者の生活を見ると、運動機能や理解力のレベルを肌で感じることができます。そこから個々の患者に合わせた調剤方法（剤形）を処方医へ提案し、その結果患者から感謝されると、これは薬剤師としてのやりがいになります。現在、訪問時のアンケート用紙と薬歴簿を検討中です。

今後の課題

在宅訪問をやりたいがどうすれば良いの？と考えている薬剤師は多いと思います。薬剤師が在宅訪問する姿は業界紙に多く取り上げられるようになってきています。この地域で考えられる取り組みは

- ① 自ら医師の元へ出向いて宣伝に行く。
- ② 釜石薬剤師会が釜石医師会へ訪問薬剤管理指導の必要性を伝える。
- ③ 岩手県薬剤師会がポスターや冊子を作成。

などが考えられます。最も大切なのは、症例で紹介したように患者又は直接介護している方の情報をもとに、患者宅へ訪問し解決してあげることだと思います。そうするためには、普段から信頼関係を構築して薬剤師の職能を理解してもらい、かつ相談されやすい雰囲気を作ることです。

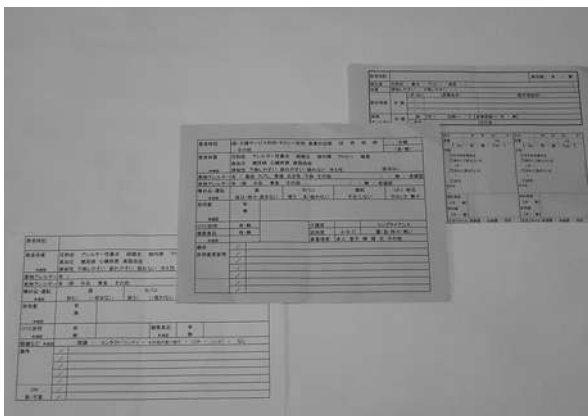
当たり前ですが薬は24時間効いており、その間薬剤師は責任があります。往診している医師は24時間体制を組んでいます。その覚悟は薬剤師も必要だと思いますし、今後休日夜間対応が求められてくると思っています。

当薬局では転送電話にて対応をしております。電話がくるのは月に2・3件程度ですが、今のところ問題なく解決しているケースがほとんどです。釜石大槌地区では釜石医師会が中心となり在宅医療連携体制検討会を昨年より立ち上げました。医師会、病院、歯科医師会、薬剤師会、介護関係、行政といったメンバーで構成され本気で議論しております。現在は急性期→慢性期→在宅、急性期→在宅の連携をよりスムーズに行うシステムを中心に話し合われています。医師は医療をチームと真剣に考え、薬は薬剤師に全て任せたという考えが浸透しております。それには薬薬連携が絶対条件で多業種との関わりも大切です。その会議の中ではがん患者も在宅で診てもらいたいという話が

ありました。そうすると薬剤師の疼痛緩和の知識向上も必要でしょう。釜石薬剤師会では11月に疼痛緩和の勉強会を企画しております。花巻支部では興味を持った薬剤師が有志で研修会を立ち上げ、もう既に20回を越えての開催と聞いております。若い薬剤師にはそのような努力を積み重ねて欲しいと思います。

在宅訪問への道

患者から見て医師は専門性がありその都度変わることがありますが、薬はずっとついてきます。かかりつけ薬局を持っていれば入院しない限りその患者との付き合いは一生となります。薬剤師はその患者と薬以外でも付き合うことが大切だと思います。そのためには日頃から患者とのコミュニケーションを深めてそれを薬歴に記入する工夫が必要です。当薬局では薬歴簿の表紙（写真4中央が高齢者用）を高齢者用、一般用、小児用と分け、患者に合わせた情報を収集しようと努めています。薬局は医療や介護の入口と出口になることが理想だと思います。初めて医療機関にかかる前に相談を受け、その患者が寝たきりになったら在宅医療に関わり、最後は看取りの一員となる、というように薬局が患者とその地域と信頼関係を構築することにより在宅訪問の道は広がると考えます。



日薬学術大会に参加して

会営薬剤師会調剤薬局 池 永 祐 介

10月12・13日に宮崎市で開催された第41回日本薬剤師学術大会に初めて参加して来ましたので、報告いたします。

12日の朝、岩手と違い、まだ暑いくらいの宮崎の気候に驚かされつつ朝食を済ませて会場へと向かいました。今回の会場は、日向灘を望む「フェニックスシーガイアリゾート」で、その豪華さにまず驚かされました。会場に入ると、開場して30分程でしたが既に沢山の関係者で溢れていました(7,000人以上の方が参加されたそうです)。

受付手続きを済ませると、まもなく開会式が始まりました。児玉孝日薬会長をはじめ関係者の挨拶、著名な方々の祝辞があり、改めてこの大会の重要性を知ることとなりました。

引き続き東国原宮崎県知事の特別講演となり、自身の育毛剤使用と女性化乳房の副作用の話など織り交ぜながらの巧みな話術に、つつい引き込まれました。



午後からは学術発表で、「地域医療に生きるいつも誰かのそばに ～神話と太陽の国から～」をメインテーマに、9会場で11の分科会が開かれ、50以上の口頭発表、また専用会場にてポスター発表が行われました。どこの会場も関係者で賑わい、通路でも関係企業のブースが開かれており、また書籍の販売なども行われていたため、移動するのも一苦労な状態でした。

その中でまず、澤田康文東大大学院教授の特別講演を拝聴しました。「これからの薬剤師の社会

における役割」などに触れ、以前にも先生の講演を聞く機会がありましたが、何回聞いても新しい発見のある講演でした。

次に、長谷川式認知症スケールの開発でも有名な長谷川和夫聖マリアンナ医科大名誉教授の特別講演を拝聴しました。認知症について基礎から分かりやすく解説され、また「実際に関係者がどのように患者さんと向き合っていけばよいのか」、「今後社会としてどのようにこの問題に取り組んでいけばよいのか」、ということを示して頂き、大変勉強になる内容でした。

その後、ポスター発表を見に行きました。その内容や対象も病院や薬局といった職種によらず、専門的・個性的なものから一般的なものまで幅広いものでした。特に目を惹かれたのは後発品関連や6年制薬学教育に関するものでした。また普段は、なかなか知ることのできない他施設や他地域の取り組みなどを知ることが出来、とても参考になりました。



講演要旨集が事前に届いていたので、前もって興味のある発表を絞って聞きに行こうと考えていましたが、各会場で同時進行しているため、発表時間が重複し、聞くことの出来ないものもあったのは、とても残念でした。

今回は、初参加ということで、最初はとても緊張していましたが、実際に参加してみて予想以上の規模と内容に、充実した時間を過ごすことができました。それから、自分と同じ薬剤師の方々が全国で日々の業務に精進していることを体感できたことも収穫でした。

また、自分が発表する立場で参加できたならば、その感動もより大きなものになるに違いないと思いつきながら、帰路につきました。

日々の業務を少し離れて、このような場で改めて、薬剤師というものを再考してみることも新たな発見に繋がるかもしれません。来年は滋賀県で開催されます。今後もこのような学術大会に積極的に参加していきたいと思います。最後になりましたが今回の大会参加と寄稿にあたり、ご協力頂いた関係各所の皆様に深い感謝の意を表し、御礼申し上げたいと存じます。



第4回常務理事会

日時：平成20年10月16日(木) 19:00~20:30
場所：岩手県薬剤師会館

協議事項

- 1 新法人（公益・一般）への移行予定について
- 2 会費未納者への催告文の発送について
- 3 H20年度DEM事業の実施について
- 4 県薬職員の冬季賞与の支給について

報告事項

- 1 会務報告と今後の予定について
- 2 第3回地方連絡協議会について
- 3 第13回東北地区認定実務実習ワークショップについて
- 4 全国研修協議会実務担当者会議について
- 5 平成20年度上半期収益事業実績について
- 6 会員の表彰について
- 7 保険薬局部会から
- 8 非常時災害対策委員会から
- 9 高度管理医療機器販売に係る継続研修会の開催について

第5回役員・支部長合同会議

日時：平成20年11月8日(土) 14:30~16:00
場所：岩手県薬剤師会館

協議事項

- 1 第34回通常代議員会について
 - ①支部活動状況の報告について
- 2 公益法人制度改革への対応方針について
- 3 次期日薬代議員会提出議題について
- 4 日薬会長と若手薬剤師の懇談会について
- 5 平成20年度版非常時災害対策マニュアルについて
- 6 新規指定保険薬局の入会金について

報告事項

- 1 会務報告と今後の予定について
- 2 岩手地方社会保険医療協議会について
- 3 会費未納者への催告文の発送について
- 4 岩手県医薬品衛生検査センター建設の進捗状況
- 5 改正薬事法に伴う政省令改訂に係るパブリックコメントについて
- 6 DEM事業の実施について
- 7 「薬と健康の週間」の活動状況について
- 8 調剤過誤対策委員会から
- 9 第13回東北地区認定実務実習ワークショップ
- 10 薬乱防止啓発推進委員会から
- 11 会員の表彰について
- 12 保険薬局部会から
- 13 平成20年薬学薬事関係者新年懇話会について



会務報告



月日	曜	行 事 ・ 用 務 等	場 所	参 加 者
10月1日	水	菅三郎先生奥様火葬		
10月2日	木	全国藤井もとゆき薬剤師後援会 拡大役員会	レベル21	会長、藤谷
		藤井もとゆきさんと語る会	ANAホテル	会長、藤谷
		菅三郎先生奥様葬儀・法事	天昌寺、ニューウイング	畑澤
10月5日	日	高度医療機器管理者等継続研修会	岩手県薬剤師会館	92名
10月7日	火	公益法人制度改革対策委員会	岩手県薬剤師会館	畑澤、四倉ほか
10月11日	土	第3回都道府県会長協議会	宮崎市	会長
10月12日	日	第41回日薬学術大会（～13日）	宮崎市	
		全国生涯教育研修実務担当者会議	宮崎市	会長
10月16日	木	第4回常務理事会	岩手県薬剤師会館	
10月17日	金	新・公益法人制度に関する説明会	県民会館	四倉、西野、藤谷
10月18日	土	県立病院薬剤師会薬学会記念祝賀会	盛岡グランドホテル	会長
10月19日	日	指導薬剤師養成WS タスク練習会	岩手県薬剤師会館	
10月21日	火	厚生労働大臣表彰 表彰式	厚生労働省講堂	会長
10月24日	金	自民党岩手県連政経懇談会	ホテル東日本	会長、四倉、藤谷
		第1回地域クリティカルパスWG	岩手医大医学部	熊谷、佐々木学
10月25日	土	日学薬東北ブロック会議	ホテルニューカリーナ	菅原、宮手ほか
10月27日	月	県知事表彰伝達授与式	盛岡地区合同庁舎	高橋(勝)、菅原
10月30日	木	岩手県薬物乱用防止対策推進本部会議	盛岡地区合同庁舎	畑澤(博)
11月1日	土	ワークショップ事前準備	アイーナ	
11月2日	日	第13回東北地区指導薬剤師養成ワークショップ（～3日）	アイーナ	
11月8日	土	第4回役員・支部長合同会議	岩手県薬剤師会館	
11月10日	月	調剤過誤対策委員会	岩手県薬剤師会館	
11月11日	火	編集委員会	岩手県薬剤師会館	
11月15日	土	H20年度全国薬局病院薬剤師生涯学習担当者会議	慶応大共立キャンパス	富山
11月19日	水	岩手県看護協会創立60周年記念事業・記念式典	県民会館	会長
		岩手県医療審議会	県庁	会長
11月21日	金	優良商工従業員表彰式	盛岡劇場	阿部
11月24日	月	平成20年度第1回保険薬局研修会	マリオス	
11月25日	火	麻薬・覚せい剤乱用防止に功績のあった者に対する表彰式	県庁	畑澤(昌)、川口
		無料職業紹介事業紹介責任者継続講習会	仙台市	藤谷
11月26日	水	製薬企業勤務薬剤師部会役員会	岩手県薬剤師会館	
11月28日	金	県民みんなで支える地域医療推進会議設立全体会	エスポワールいわて	会長
11月29日	土	岩手県薬剤師会薬物乱用防止啓発講座講師研修会	岩手県薬剤師会館	

受賞おめでとうございます



盛岡支部 高砂子 修 作 先生
東北薬剤師会連合大会 薬事衛生功労者表彰
平成20年 9 月14日



花巻支部 武 政 文 彦 先生
東北薬剤師会連合大会 薬事衛生功労者表彰
平成20年 9 月16日



盛岡支部 村 井 晃 先生
平成20年度薬事功労者厚生労働大臣表彰
平成20年10月21日



盛岡支部 高 橋 勝 雄 先生
平成20年度保健医療功労者に対する岩手県知事表彰
平成20年10月27日



盛岡支部 菅 原 俊 英 先生
平成20年度保健医療功労者に対する岩手県知事表彰
平成20年10月27日



岩手県立病院薬剤師会
岩手県営医療貢献賞
平成20年11月 4 日



花巻支部 高 橋 光 先生
岩手県教育表彰
平成20年11月 5 日



宮古支部 佐々木 エミ子 先生
岩手県教育表彰
平成20年11月 5 日



一関支部 菅原 敦子 先生

岩手県教育表彰

平成20年11月 5 日



一関支部 佐藤 一朗 先生

岩手県教育表彰

平成20年11月 5 日



気仙支部 熊谷 正代 先生

岩手県教育表彰

平成20年11月 5 日

大船渡市市政功労者表彰

平成20年11月 5 日



釜石支部 照井 絹子 先生

岩手県教育表彰

平成20年11月 5 日



宮古支部 千坂 清一 先生

岩手県教育表彰

平成20年11月 5 日



盛岡支部 前東 憲子 先生

岩手県教育表彰

平成20年11月 5 日



気仙支部 金野 亨 先生

学校保健及び学校安全文部科学大臣表彰

平成20年11月 6 日



盛岡支部 畑澤 昌美 先生

麻薬・覚せい剤乱用防止に功績のあった者に対する厚生労働大臣感謝状

平成20年11月25日



二戸支部 川口 裕幹 先生

麻薬・覚せい剤乱用防止に功績のあった者に対する厚生労働省医薬食品局長感謝状

平成20年11月25日

第59回東北薬剤師会連合大会が開催されました

岩手県薬剤師会理事 藤原純榮

ます。参加希望の方は薬剤師会事務局、支部長さんにご連絡下さい。

9月14日（日）・15日（月）の2日間、山形市で東北薬剤師連合大会が開催されました。

“世代を超えて受け継がれる「薬剤師エネルギー」の結集を!!”をスローガンに日薬の児玉 孝新会長も駆けつけていただき盛会でした。

本県からは村井晃会長をはじめ9名が参加。大会席上薬事衛生功労者の表彰では、本県から（盛岡）高砂子修作先生と（花巻）武政文彦先生が受賞されました。

初日の文化講演では「直江兼統の“義”」（来年のNHK大河ドラマ「天地人」の主人公）と題して小野榮先生よりご講演を戴きました。有能な武将で戦国時代末期から江戸時代初期に活躍。米沢市の町づくりに深く関わった上杉家の武将です。大河ドラマではどのように描かれるか楽しみです。

特別講演Ⅰは山形県立中央病院 救命救急センター診療部長の森野一真先生より「中国四川大地震における国際緊急援助隊医療チーム活動」と題して、現場での活動経過、現地の状況など詳しくお話をいただきました。岩手県でも大きな地震が2回有り、非常時、災害時の活動のあり方を考えさせられた。岩手県薬としても今体制づくりに取り組んでいるところです。

2日目、特別講演Ⅱは春の選挙で新に就任された、日薬会長の児玉孝先生より「日薬のめざす薬剤師の将来像」と題してご講演があり、引き続き「若い薬剤師が描ける薬剤師職能の将来とは」と題し児玉会長を交えパネルディスカッションが行われました。今置かれている薬剤師会の現状と、将来有るべき姿について講演及び討議が行われ、日薬の組織強化と薬剤師代表の国会議員の必要性について話されると、若手薬剤師（30～40才）からは薬剤師会への批判や要望とともに改革へのエールが送られました。

それぞれの立場で不安や危機感を持ちながらも、これからの若い薬剤師が生き生きとして働ける職能の拡大・向上に頑張っていこうとするエネルギーが感じられました。

来年1月17日（土）に薬学薬事新年懇話会が盛岡グランドホテルで開催されますが、児玉会長も出席され、開会前には若手薬剤師との懇談会も予定されています。皆様のご参加をお待ちしており



参加された皆様方



薬事衛生功労者のお二人



児玉日薬会長

第50回県立病院薬学会記念講演会が開催される



平成20年10月18日(土)第50回県立病院薬学会記念講演会が開催されました。

一般演題では「がん化学療法」「薬学生長期実務実習」など薬剤師の専門性や必要性の高いものが発表され、参加者の関心も高く、活発な質疑応答となりました。

第50回記念として、特別講演は東北薬科大学薬理学教授 鈴木 常義 先生の「薬学教育6年制と長期実務実習の現況について」とIBC岩手放送報道局次長兼報道部長 河辺 邦博 氏の「目で話す」の2題を講演して

頂きました。

薬学会に引き続き同ホテルにおいて記念祝賀会が開催されました。

参加数は137名で、ご来賓には医療局長 田村 均次 氏を始め、岩手県薬剤師会会長 村井 晃 先生、岩手県病院薬剤師会会長 宮手 義和 先生のほか、多くのOBの先生方においていただき、中央病院有志による「盛岡さんさ踊り」が披露されるなど盛会裏に終了しました。

岩手県立病院薬剤師会が平成20年度岩手県営医療貢献賞を受賞



田村均次局長から岩手県営医療貢献賞を受ける
岩手県立病院薬剤師会の千代川千代吉会長（中央）

平成20年11月4日ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイングにおいて、岩手県立病院薬剤師会が「平成20年度岩手県営医療貢献賞」を受賞しました。

受賞実績

同会は医療局開庁後まもない昭和31年に職域団体として組織され、翌32年以降50年の永きにわたり、薬剤師による自主学会である「県立病院薬学会」を開催するなど、薬剤業務の効率化や業務改善、薬剤師の資質向上に努め、患者サービスの向上はもとより、病院運営の円滑化に多大な貢献をしたものである。

(文責：中央病院 奥)



委員会の動き



健康いわて21委員会

委員長 熊谷 明知

本委員会は、岩手県が実施している「健康いわて21プラン」に基づき、県業が行なうべき事業を起案し活動しています。

今年度は岩手県における重要な健康課題のひとつである「自殺対策」を新たな活動として取り入れました。

平成20年度の事業方針は下記のとおりです。

「おくすり・食べもの健康講座」の実施

- ・各市町村、老人クラブ等に働きかけ実施する。
- ・各支部は会員が講演できる体制を整備する。
- ・参加者が20人以上の講座については講師の報酬を県業が負担する。(先着受付25講座)
- ・講座の案内、申し込み受付、各支部への連絡はくすりの情報センターが行う。

「うつ病患者への服薬指導」に関する研修会開催

- ・岩手県自殺対策事業である「早期対応の中心的役割を果たす人材養成」を推進する中で、保健所の事業に「薬剤師を対象とした研修会の開催」が組込まれたことから、各保健所と連携して当該研修会を開催する。
- ・研修内容は、自殺企図の手段として「医薬品の過量服用」や、「硫化水素や農薬の服毒」によるものが多いという調査結果を踏まえ検討する。

健康いわて21プラン改訂増補版への協力

- ・標記プランではメタボリックシンドロームに関連した新たな目標設定と、事業浸透に伴う修正がなされ、計画期間も平成24年まで2年間延長された。
- ・禁煙のみならず、様々な領域で薬局及び薬剤師の関与する部分が多いことから、これまで以上に標記プラン関連事業に薬剤師が積極的に参加・協力することが必要である。

いずれの事業も支部・地域が主体となる可能性が多いことから、各支部におきましてはこれまでに以上に自治体担当者との連絡調整を図り、各地域における「健康づくりの担い手」として薬剤師の職能を十分に発揮していただきますようお願いいたします。

非常時災害対策委員会

委員 岩崎 優子

第3回 災害ボランティア研修会（報告）

報告者：（非常時災害対策委員）岩崎優子

9月7日（日）、第3回災害ボランティア薬剤師研修会が岩手県薬剤師会館において開催され講師を含む36名の参加がありました。今年岩手県では6月に岩手・宮城内陸地震が、また7月には岩手北部地震が発生し、大変大きな被害を受けています。そこで、実際に体験された方々からお話を伺い、非常時・災害時に私達薬剤師は何をすべきか、学ぶ機会を得ました。

はじめに大谷非常時災害対策担当副会長より開会の挨拶があり、次に盛岡支部の活動として、盛岡市総合防災訓練に参加し医薬品の搬送訓練の報告が富山先生（盛岡市立病院）からありました。

つづいて、盛岡赤十字病院医療班の活動として「日常訓練と今回の体験から」と題し、鈴木弘文先生（盛岡赤十字病院薬剤部）から講演いただきました。このなかでは、実際の医療班の訓練の模様をDVDで見せていただき、いかに日頃の訓練が重要であるかを教わりました。また、岩手・宮城内陸地震での救護活動の報告、今回の救護活動の反省点についてもお話しいただきました。「どんなに訓練しても失敗はあるもので、訓練していないから出ないのではなく、薬剤師も積極的に現場に出てほしい」という言葉に背中を押された気持ちになった参加者も多かったと思います。

そのあと、岩手・宮城内陸地震を体験して「支部長としてやらなければならないこと」と題しまして、一関薬剤師会支部長 関俊昭先生より講演いただきました。通常の業務をしながら、そして通信手段が機能しない中での情報収集の難しさ、関係機関からの要請により救急セットなど医薬品の供給について苦労なされたお話、また、緊急時においてもルールに則った薬剤師業務を行うことの大切さ等、実際に体験しないと分からない貴重なお話をいただきました。

次に、被災者として避難所生活を体験された、一関薬剤師会 佐藤千喜子先生からは被災地

の当時の状況、避難所で大変だった事など、貴重な体験談をお聞かせいただきました。中越地震や阪神大震災などの被災者の方々や色々な方から励ましの言葉をもらい、被災で大変な思いはしたものの、心に残る日々だった、率直な感想をお話いただきました。

また、保健師の立場から一関保健センター 遠藤元子先生から、震災における保健活動「保健センターと薬剤師会の連携」についてお話をいただきました。今回の震災では被害が多かった山間部にヘリコプターでしか移動できず、ヘリコプターの発着での粉塵、騒音が大変だったこと、マスク関係・ボランティア団体等への対応の問題点、被災者のプライバシーの保護やこころのケアへの対応など多岐にわたってお話をいただきました。今後、薬剤師会に期待する事として、消毒の指導とくに水害時の防疫消毒指導があげられました。

最後に、「災害時における情報活動について」として、岩手県薬剤師会副会長 くすりの情報センター所長 畑澤博己先生から、情報センターの役割について、ホームページの活用、また電話以外の通信手段（無線等）の重要性について等お話をいただきました。

今回の研修会では、プログラムの最後にディスカッションを予定していましたが、時間の都合により出来ませんでしたが、フロアからは、災害時の学校薬剤師の活動についてどうするか、また、沿岸の参加者からは津波が起きたらどうしたらよいのか不安だ、非常時の支部間の連携はどうすべきか、など活発な意見交換がなされました。

今回の研修会を通して、今後もあらゆる非常時・災害に対しての対策を検討していく必要があると改めて感じました。

【資料】

日時：9月7日(日) 10時30分から12時30分

会場：岩手県薬剤師会

対象：ボランティア登録者、支部長、各支部非常時災害対策委員、ボランティアに興味ある薬剤師、岩手県薬剤師会役員

【プログラム】

座長：非常時・災害対策委員 中田 義仁

① 盛岡赤十字病院医療班の活動

「日常訓練と今回の体験から」

盛岡赤十字病院薬剤部 鈴木 弘文

② 岩手・宮城内陸地震を体験して

「支部長としてやらなければならないこと」

一関薬剤師会支部長 関 俊昭

③ 岩手・宮城内陸地震避難所生活を体験して

「薬剤師の視点から」

一関薬剤師会 佐藤千喜子

④ 震災における保健活動

「保健センターと薬剤師会の連携」

一関保健センター保健師 遠藤 元子

⑤ 「災害時における情報活動について」

岩手県薬剤師会副会長

くすりの情報センター所長 畑澤 博己

【ディスカッション】

座長：非常時・災害対策委員会委員長

齊藤 明

「非常災害時、薬剤師会に期待することは？…」



鈴木 弘文 氏



関 俊昭 一関支部長



佐藤千喜子 氏



遠藤 元子 氏



保険薬局部会から



○保険調剤の動向（平成19年度）

	実 数	対前年比
件 数	487,900,099件	104.7%
処方せん枚数	683,749,727枚	103.5%
調剤点数	491,597,394千点	108.7%

件数・処方せん枚数・調剤点数（全国）

受取率（全国）

	平成19年度	平成18年度
（岩手県）	65.0%	63.1%
全国平均	57.2%	55.8%
70%以上	3 都道府県	3 都道府県
60～70%未満	16 〃	14 〃
50～60%未満	13 〃	13 〃
40～50%未満	8 〃	10 〃
30～40%未満	6 〃	6 〃
30%未満	1 〃	1 〃
計	47都道府県	47都道府県

○地方社会保険医療協議会の見直し

平成20年10月1日より社会保険庁の解体に伴い地方社会保険医療協議会も見直しが図られた。

社会保険事務局 （都道府県単位）	⇒ 地方厚生局 （8ブロック単位）
---------------------	-------------------------

岩手県地方社会保険医療協議会	⇒ 東北地方社会保険医療協議会
----------------	-----------------

○関節リウマチの自己注射薬エンブレル

標記注射薬はバイアルとシリンジタイプの2種類が発売されていますが、最近シリンジの自己注射タイプが院外に出されるケースが多くなりました。

当該医薬品にはアルコール綿が付属されていないため、病院によっては薬局にて貰うように指示しているところもあるようです。

しかし、アルコール綿はすでに院内の在宅自己注射指導管理料820点（在宅療養指導管理料）に算定されておりますので、患者からの質問があった場合には病院にて貰うように回答してください。

メーカーも医療機関にそのように説明しています。

○レセプトオンライン請求システムの導入について

日本薬剤師会から下記の文章が届いております。

～前文省略～

薬局のオンライン請求については、厚生労働省令で、オンラインを使用して行うものとされておりますが、①現在レセコン未導入の薬局は平成23年5月まで猶予されること、②レセコン未導入で、かつ、提出するレセプトが少ない（100件以下／月）薬局にあっては平成23年5月から2年以内の実施、とされています。

上記に加え、省令ではいわゆる三師会は代行請求を実施できるとなっております。

現時点では、厚生労働省から代行申請に関する詳細な通知が発出されておりますませんが、本会では、三師会で協調しつつ、薬局の現場で請求書の作成にあたり混乱が発生しないよう、また、薬剤師会等での代行可能とされている請求業務の範囲を出来るだけ拡大するよう、関係機関との折衝を行っております。

その一環として具体的には、貴会や貴会支部が代行申請を実施する場合においては、レセコン導入済み薬局においても、レセプトデータの入ったフロッピーディスク等を貴会等に届け、貴会等が薬局の代わりにオンライン回線を利用して審査支払機関に請求することを可とすべく、併せて交渉を行っております。

つきましては、現状の対応につきご賢察賜り、貴会会員の薬局に対し、「オンライン請求への移行に関しては、冷静にご対応いただきたい」旨、ご周知いただければ幸いです。

なお、今後ともこれまで同様、状況の変化等に合わせ、本会からの情報を提供してまいります。



支部の動き



気仙支部

支部長 細谷 昌弘

気仙支部では、保険薬局部会（医薬分業対策委員会）、高齢者福祉委員会、調剤過誤対策委員会、生涯教育研修委員会と小委員会を中心に事業を行っております。

平成20年度は高齢者福祉委員会（委員長 亀卦川真知子）が中心となり、7月6日（日）、13日（日）の2回に亘って「施設見学会」を実施いたしました。

6日は陸前高田市の「高寿苑」に、13日には大船渡市の「富美岡荘」にそれぞれ10名前後の会員が訪問し2時間程度見学をさせて頂きました。

この施設見学は①入所者への与薬状況と服薬状況の確認、②要介護度の認識、③施設職員とのコミュニケーションなどを目的として企画いたしました。普段薬局では、施設入所者の方への服薬指導を介護者に行うことが多いわけですが、患者さん本人の状態を詳しく把握する事は難しいのではないのでしょうか。適切な薬物療法を行う上では、食事摂取や服薬状況（嚥下状況）をはじめ患者さんの状態がわからないといけません。

参加者は施設における要介護者への与薬状況等を見学することで、施設における生活や患者さんの状態、与薬に対する職員の悩み等々多くのことを学んだようです。

調剤する上でも「一包化」や「簡易懸濁法」など、患者さんの状態や施設の状況によってその対応は異なると思います。「一包化」は多くの薬局で行っていると思いますが、実は分包紙への印字や色分けの方法など薬局によりばらつきがあります。同一施設の患者さんがすべて同じ薬局で調剤してれば問題ないのですが、別々の薬局で調剤することで、その施設内ではいろんな薬局でもらった薬が存在することとなり、介助する側にとっては大変な作業になるのだと思います。

薬剤師の仕事は薬を説明して渡すことではなく、適切に使用していただくように援助することにあると思います。そのためには、施設職員の悩みや不安に耳を傾け、できる限りの対応を行っていく

ことが大切ではないでしょうか。

また、生涯教育研修委員会（委員長 大坂敏夫）では、現在気仙薬剤師会学術講演会の準備中です。第6回目となる今年は、厚生労働省重篤副作用総合対策検討会委員、虎ノ門病院の林昌洋先生をお招きすることになりました。先生は9月に放映された「本当は怖い家庭の医学」というバラエティー番組の「くすりスペシャル」やNHK今日の健康の「妊婦と薬」などでコメンテーターをされた方でございます。開催案内等詳細は各支部長や県薬剤師会HPに掲載しておりますが、12月13日（土）午後3時から行います。お時間の都合が取れます方は是非お越し頂きたいと思います。講演会終了後には懇親会も行いますので、是非ご参加いただきたいと思います。



宮古支部

つくし薬局磯鶏店 清水川 大 和
気がつくともう、今年も残りわずかです。宮古薬剤師会にとっては、忙しくもあり、しかし、やりがいのある、あつという間の1年だったと感じております。

宮古市には休日急患診療所が設置されており、各病院、医院、診療所が休診となる日曜、祝日に患者さんの受け入れを行ってまいりました。休日急患診療所では宮古医師会の先生方が交代で診察を行っていたのですが、3月から薬剤師も勤務して、調剤、服薬指導を行うこととなりました。

まず課題となったのは、勤務する薬剤師の確保でした。通常業務を終えて休日をむかえての勤務となるためなかなか都合を合わせられる薬剤師がおらず、少人数でのローテーションとなり、個人への負担が大きくなってまいりました。

しかし、医師会の先生方の医療に対する熱意や、いつもと違う状況で患者さまと接する喜びを感じ、勤務される薬剤師の数が増え、ようやく軌道に乗ってきたと感じております。

また、各薬剤師が同じ調剤内規に基づいて業務を行えるよう、調剤内規を作成いたしました。調剤内規は、宮古薬剤師会の全薬局で添削等をしていただき、完成させることができた次第です。

休日急患診療所に関しては、監査システムの設置や、レセプトの電子化など、まだまだ取り組んでいかなくてはならない課題が残っていますが、関係するスタッフ全員で取り組んでいきたいと考えております。

また、県立宮古病院や、宮古市の関係各所で、地域医療の有機的な連携を目的とする「地域医療連携プロジェクト」が発足しました。

患者さまにより良い医療を提供できるよう、宮古地域の中核病院である県立宮古病院や、地域のかかりつけ医院等の連携方法について、疾患別に話し合いが進行しております。

委員は、病院、薬局、保健所、市、介護施設等の関係者で構成されており、様々な視点からの活発な発言がなされております。

薬剤師としては、寝たきりの患者さまに対しての在宅業務に関することや、複数科受診の患者さまのお薬の飲み合わせの確認のためのお薬手帳の啓蒙などに、今まで以上に取り組んでいくことが

求められております。

医療は、繋がって、輪になっているものだという事をあらためて実感させられるプロジェクトです。

また、宮古病院で行われる医療の質推進懇話会においては、医師、歯科医師、薬剤師、看護師、助産師、栄養士等、様々な医療関係者の、医療に対する取り組みの発表が行われております。

薬剤師は、普段は患者さまを通してでしか、他の医療関係者と関わりを持つことが少ないのが現状です。しかし、医療の質推進懇話会においては、手術に関することや、地域の学校保健での取り組みなど、普段知りえない多くのことにふれることができて、とても素晴らしい体験をさせていただいていると思います。

災害対策も、宮古地域の重大な課題のひとつであり、熊谷会長を筆頭に取り組みを進めております。

宮古地域は過去に、地震、津波で大きな被害を受けております。昨年は、災害発生時を想定した薬局間の電話連絡、薬剤配送ルートの確認等を行いました。今年度の、岩手宮城内陸地震も受けまして、災害対策を盤石なものにしていかななくてはならないと考えております。

昨今話題となっている新型インフルエンザに対しては、メールでの情報の共有、相互連絡の体制を整える、などといった取り組みで対策を整えております。

災害対策については、混乱を伴うなかでの的確な情報伝達や、対応が求められるため、強固な連絡システムを常に使用できる状況を確立しておくことが必要と考えております。

宮古薬剤師会は、とても団結が強く、患者さまのために努力するという共通の志をもっております。宮古三師会の連携も良く、合同の研修会などを通して、絆を深めております。

昨今の、医療法の改正や、災害等にもしっかりと対応し、より良い医療を提供していくために、今後も様々な取り組みを進めて参りたいと存じます。



— 検査センターでの微生物検査のご紹介 —

微生物検査室では主に現在2名のスタッフで構成され、食品《自主検査、規格試験、期限設定のための保存試験、異物検査等》、水質検査《飲料水、公衆浴場水（浴槽水、プール水）、環境水（河川、湖沼、排水等）》、とそれぞれ一般細菌、大腸菌、サルモネラ属菌、レジオネラ属菌等の細菌やクリプトスポリジウム原虫検査等を行っています。

微生物について

○微生物って…？

一口に＜微生物＞といっても微生物には多くの種類が存在しています。分類としては主に①細菌、②真菌（カビ、酵母等）、③原生動物（アメーバ、原虫等）、④ウイルスがあります。

○どこに住んでいるの…？

環境中では極限の環境条件にも適応力があるので、乾燥、高温、高圧に至るまで、空中、水中、土壌等あらゆる環境に生存しています。

動植物にも共生していて、ヒトでは皮膚、鼻腔、口腔、腸管等に固有の腸内細菌叢（多くの細菌が生きていく様子を叢（くさむら）に例えて腸内細菌叢と呼んでいます）を形成しています。健康なヒトの腸内には約100種類、約100兆個、重さにして100～200gの細菌が生きて食物の消化に役立っています。

○どんな微生物がいるの…？

同じ微生物でもヒトの健康によい働きをする菌（善玉菌、有益菌）、悪い働きをする菌（悪玉菌、有害菌）があります。有益菌では代表的なものが乳酸菌ですが、味噌や醤油、酒などの醸造食品、ヨーグルトやチーズ、漬物や納豆などの発酵食品、コウジを使った化粧品もあります。有害微生物はカビや腐敗菌、また大腸菌、黄色ブドウ球菌、サルモネラ属菌などの食中毒菌、ノロウイルス等を指します。最近、世間を賑わせた汚染米のアフラ

トキシンはカビの繁殖に伴って作られたカビ毒です。

○細菌はどれくらいの大きさなの…？

微生物は形態の大きなものから順に原生動物、真菌、細菌、ウイルスとなります。

細菌は目に見えないほど極小な生き物で、大きさは0.5～20 μ m（平均1.0 μ m：1／1000mm）程度です。100億個程度に分裂を繰り返し増殖して、「コロニー（集落）」を形成し、初めて肉眼で観察できるようになるのです。

○どのように生活は守られているの…？

食品においては＜食品衛生法＞により食品別に規格基準が、飲料水においては＜水道法＞、浴槽水は＜公衆浴場法、旅館業法＞により水質基準がそれぞれ法律で定められており、最低それらの基準を満たすことが必須になります。その他、河川や湖、海水等は＜環境基本法＞、下水では＜下水道法＞に基づき検査を行い、安全に生活できるよう管理されています。

このように日々かかわっている微生物の中で、今回は検査依頼の多い＜レジオネラ属菌＞について触れてみます。

レジオネラ属菌について

○レジオネラ属菌って…？

レジオネラ属菌は水と深い関わりをもつ菌で自然界の土壌や淡水中に存在する自由生活菌です。

新聞を眺めていると、時々「公衆浴場施設でレジオネラ属菌検出」という記事を目にすることがあると思います。

そもそもレジオネラ属菌というのは、1976年、米国フィラデルフィアのホテルで開催された在郷軍人会の参加者やホテル周辺の通行人などに原因不明の重症肺炎が集団発生し、罹患者221名のうち29名が死亡したことが報告され、調査によって

この肺炎はこれまで報告の無かったレジオネラ属菌による感染症であることが明らかになり、在郷軍人病（レジオネラ症）と名付けられたのです。レジオネラ属菌が原因で起こるレジオネラ症は、臨床症状から肺炎型とポンティアック型に大別されます。肺炎型では発熱、全身倦怠、筋肉痛、下痢、意識障害など多彩な臨床症状がみられ、重症の場合、死に至ることもある怖い病気です。現在我が国では新4類感染症に分類されています。

○どのように感染するの…？

では、どのようにしてレジオネラ症に感染してしまうのでしょうか…？

レジオネラ属菌は水が循環、滞留（よどみ）しているところで他の細菌や藻類などから養分を吸収したり、アメーバなどの原生動物に寄生して増殖します。そうして微生物が繁殖してできるバイオフィーム（生物膜、ぬめり）の中が格好の繁殖場所なのです。その汚染されたエアロゾル（目に見えない程の細かい水滴）を吸い込むことによって感染します。ぬめりが発生しやすいところ…エアロゾルを吸引しやすいところ…20～50℃で繁殖しやすい。考えると一番感染しやすいところが＜浴槽水＞に行き着くわけです。その他、家庭内の加湿器、給湯水、冷却塔水、噴水、最近ではプール水による感染者も報告されています。

しかし、健康な成人が感染することはまれで、幼児や高齢者、あるいは入院患者等の免疫力が低下しているヒトが罹患しやすい日和見感染菌の1つとして認識されています。

○どうすれば防げるの…？

レジオネラ属菌はそれほど強い菌ではありません。70℃で1分、0.4ppmの遊離残留塩素で接触時間15分で死滅すると言われています。しかし、塩素剤を注入してもバイオフィームで保護され、消毒するだけでは防げないこともあるのです。よって、消毒のみならず、常にバイオフィーム（ぬめり）の発生を防止すること、取り除くこと。いわゆるこまめに＜清掃＞することが一番なのです。

○公共ではどう管理されているの…？

公共施設が原因で感染し、レジオネラ肺炎による死亡者などが出ることは絶対防がなければいけません。国では公衆浴場において浴槽水の種類ご

とに検査の内容、回数等、細かく管理基準が設けられ、岩手県条例ではレジオネラ属菌が検出された時点で県への報告の義務が課せられ、厳しく管理されています。また、平成19年には「遊泳用プールの水質基準」にレジオネラ属菌の基準が加えられました。

行政は

- ・連日使用型循環浴槽水は1週間に1回以上完全換水し消毒、清掃を行うこと。
 - ・貯湯タンクの湯温は60℃以上に保つことが望ましいこと。
 - ・浴槽水の遊離残留塩素濃度は1日2時間以上0.2～0.4mg/Lに保つことが望ましいこと。遊泳用プール水は0.4mg/L以上1.0mg/L以下であることが望ましいこと。
- など、具体的に管理要領を定めています。

○最後に…

当センターではヒトが健康で安全に暮らすため、水道水、プール水、河川水、工場排水、食品、学校や食品製造工場の環境調査など、このような身近な微生物を検査することで地域の安全を守るお手伝いをしています。

どの分野でも完全な安全システムを確立できていない状況の中、地域が安心な暮らしができるよう私達もできる限り貢献できればと思っています。





質問に答えて

インフルエンザについて



今年もうすぐインフルエンザの季節が訪れる。インフルエンザと言えば熱・悪寒・関節痛などの全身的な症状が特徴であるが、近年、インフルエンザに対する対策としてのワクチンの認識が広まり、さらに、インフルエンザ診断キットによる迅速な診断の確立やノイラミニダーゼ阻害薬の登場と、急速なインフルエンザ対策の新時代が到来した。しかしながら、高病原性鳥インフルエンザの出現やノイラミニダーゼ阻害薬であるオセルタミビル服用による異常行動との関連など新たな問題も浮上してきており、インフルエンザに対するしっかりとした知識と対策が必要である。

ウイルスの特徴と感染機序

インフルエンザウイルスは、RNAウイルスでA・B・Cのタイプがあり、A型が最も病原性が強く、次いでB型、C型では普通の風邪と同程度といわれている。インフルエンザウイルスは、気道粘膜より感染し、感染細胞内で増殖し再び他の細胞へと感染していく。

インフルエンザウイルスA型・B型の粒子の表面には、血球凝集素（HA：hemagglutinin）とノイラミニダーゼ（NA：neuraminidase）という2つの糖蛋白が突出しており、HAは感染標的細胞の表面にあるN-acetylneuraminic acidを受容体として認識し結合後、エンベロープと細胞の膜融合を起こし感染を成立させる（図1）。NAは細胞表面に存在し、HAの受容体であるシアル酸を持つ糖鎖からシアル酸を加水分解して除去

する酵素で、インフルエンザウイルスが気道上皮細胞に感染・増殖後に、細胞表面からインフルエンザウイルスを遊離させて別の未感染細胞への感染を拡大させる。A型インフルエンザウイルスは、表面抗原が変異するため、しばしば大流行を引き起こす。

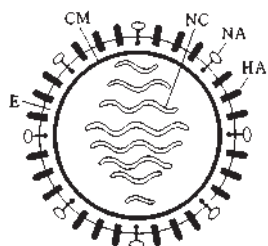
診断および治療

インフルエンザに感染すると、1～3日の潜伏期間を経て、悪寒、頭痛、関節痛、全身倦怠感などの全身症状を伴う発熱で発症する。その後、咳、鼻水などの呼吸器症状が出現する。いわゆる通常の「かぜ」と異なる点は、全身症状の強さであり、1週間程度症状が持続する。発症後、3～4日後がウイルス排泄のピークであるが、乳幼児がインフルエンザに初感染した場合には、症状が強くウイルス排泄期間は長くなる。また、高齢者に感染した場合においても、肺炎などを合併する確率が高く、死亡する例もみられる¹⁾。このようなことから、インフルエンザの診断および治療は迅速かつ適切に行われる必要がある。

インフルエンザの診断は、迅速診断キットが開発され、抗インフルエンザ薬であるノイラミニダーゼ阻害薬とあいまって、インフルエンザの診断・治療は飛躍的に進歩したといえる。

迅速診断キットは、イムノクロマト法あるいはEIA法を原理とし、患者の咽頭ぬぐい液を検体に10分～20分の短時間でA型、B型が診断できる。感度は80%以上、特異度は90%以上である²⁾。診断キットを使用する上で注意しなければならない点は、インフルエンザ感染初期における検出率はそれほど高くはなく、インフルエンザに感染している場合でも陰性をしめす場合があるため、必要があれば一定時間経過後再び検体を採取し検査する必要がある。

治療については、現在、ノイラミニダーゼ阻害薬であるオセルタミビルおよびザナビルが主流であり、アマンタジンも認可されているが、中枢



HA：ヘムアグルチニン、NA：ノイラミニダーゼ、NC：ヌクレオカプシド
CM：コア膜（膜タンパク質）、E：エンベロープ（脂質二重層）

図1 インフルエンザウイルスの構造

神経系の副作用の問題や薬剤耐性の問題から使用は減少傾向にある。

1999年12月に認可された本邦初のノイラミニダーゼ阻害薬であるザナミビル増殖抑制機序は、インフルエンザウイルス表面に存在するノイラミニダーゼに結合しシアル酸の分解を抑え、感染細胞からウイルスを遊離することができなくする。ザナミビルの投与経路は吸入で直接感染部位へ作用し、排泄は大部分が気道分泌物と胃であり極少量であるが血中へ移行する。半減期は血中へ移行した薬物で約2時間であり、副作用はほとんどなく喘息患者の場合には慎重投与である。インフルエンザA型およびB型のいずれにも有効である。

その後、経口投与可能なオセルタミビルの登場により、ノイラミニダーゼ阻害薬の市場はさらに拡大し、インフルエンザ治療薬における地位を確立した。しかしながら、オセルタミビルを服用した小児での異常行動が問題となり、服用することによる危険性についての十分な説明と理解を求める必要がある。

高病原性鳥インフルエンザ（H5N1）

A型インフルエンザは表面抗原が変異することが知られており、現在まで人類で流行したインフルエンザはすべて鳥インフルエンザが人類に感染し流行したものである。HAは1～15およびNAは1～9の亜型が存在し、その組み合わせで流行が起こる。しかし、A型インフルエンザは水鳥を中心にカモ、ニワトリ、ヒト、ウマ、ブタ、アザラシなどを自然宿主として増殖しながら自然界に存在している。特にカモは無症状で腸管にすべての亜型のHAおよびNAの組み合わせによるA型インフルエンザウイルスが多数感染しているとされ、その中でも特にH5およびH7によるものがニワトリに対し高病原性であり、感染した場合ほぼ死亡する。1997年に香港でニワトリに流行がみられ、ヒトへの感染も確認されている。また、A型インフルエンザH5N1が2004年からタイやベトナムにおいて大流行しており、ニワトリのみならず、ニワトリからヒトへ、さらにはヒトからヒトへの感染も認められ、死亡率が高いため重大な問題となっている³⁾（図2）。予防策としての高病原性鳥インフルエンザのワクチン製造は困難を極め、現状ではマスクや手洗い、うがいなどの一般的な対応を行わざるを得ない。しかし、治療に

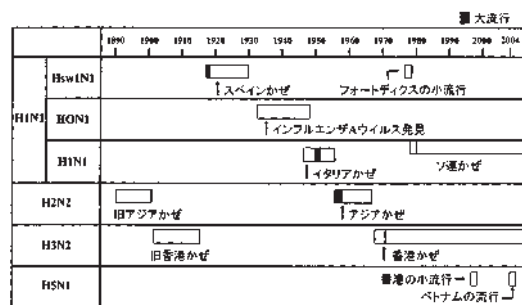


図2 インフルエンザA型ウイルスの亜型と流行

おいてはノイラミニダーゼ阻害薬の早期投与による効果が確認されているため、適切な診断と治療が重要であるといえる。

今後、変異の兆候をすぐに把握しアウトブレイクに対応できる体制を構築することが最も重要であると考えられる。

医療従事者の感染対策

医療従事者は自らが感染することはもとより、自らが感染源となることを考慮し、ワクチン接種をするべきと考えられる。また、感染した患者に接触する場合や自らが感染した場合、咳やくしゃみなどからウイルスが飛沫核となって拡散し、感染が拡大することを防ぐためにマスクの装着などによる咳エチケットをしっかりと行うことが重要である。

インフルエンザの対策として、予防としてのワクチンおよび治療としての薬剤の位置づけを理解し有効に利用することはもちろんのことであるが、日頃から手洗いやうがいをしたりバランスの良い食事をとったり、また、十分な睡眠をとることも大切なことであると考えられる。

参考文献

- 1) 中島寿、山本哲郎ほか:画像上インフルエンザウイルス肺炎が疑われCPK高値が認められたA型インフルエンザの1症例。臨床と研究, 76, 2163-2166, 1999.
- 2) 久保徳彦、池松秀之ほか:イムノクロマトグラフィーを原理としたインフルエンザ迅速診断キットの成人における有用性についての検討。感染症雑誌, 77, 1007-1014, 2003.
- 3) Tran TH, Nguyen TL, et al.: Avian influenza A (H5N1) in 10 patients in Vietnam. N Engl J Med, 350, 1179-1188, 2004.

(盛岡赤十字病院薬剤部 工藤 晋)

知っておきたい医薬用語 (34)

▶ クリオグロブリン血症 (くりおくろぶりんけっしょう)

血清を寒冷 (4℃以下) にした時にゲル化したり沈殿したりする熱不安定成分 (クリオグロブリン) が認められる疾患。

▶ G6PD欠損症 (くるこーす・ろく・りんさんだっすいそこうそけっそんしょう)

glucose-6-phosphate dehydrogenase deficiency

赤血球酵素であるグルコース-6-リン酸脱水素酵素の欠損による先天性溶血性貧血 (家族性貧血)。酸化的作用のある薬剤 (解熱薬、サルファ剤、抗マラリア薬など) の投与時や感染症などのストレス時に溶血発作を起こす。

▶ チューブリン (ちゅーぶりん) tubulin

細胞骨格の一つ微小管を構成する蛋白質。αチューブリンとβチューブリンからなるヘテロ二量体で、これが管状に重合して微小管を形成している。

▶ ハプテン (はぴてん) hapten

不完全抗原ともいわれ、抗体と結合するが単独では抗体産生を誘起する活性 (免疫原性) をもたない抗原のこと。適当なタンパクと結合すると免疫原性をもつ完全抗原となる。

▶ プリン体 (ぶりんたい) purine body

構造上プリン誘導体とみられる化合物の総称。

ちょっと教えて！

副作用の読みと意味

肺うっ血 (はいうっけつ) うっ血肺。肺循環に障害が生じた時、肺内に血液がうっ滞し、毛細血管が拡張すること。

胸水 (きょうすい) 胸膜滲出液。胸膜腔内に生じた液体。

腹水 (ふくすい) 腹膜腔内に30～40mlの生理的体液を超えて貯留している可動性の液体。

高窒素血症 (こうちっそけっしょう) 腎臓の機能が低下することにより血中に老廃物がたまった状態。

間質性腎炎 (かんしつせいじんえん) 腎臓の尿細管やその周辺組織 (間質) に炎症が起こり機能が低下する疾患。

分類 植物由来

概要

ケール（学名：Brassica oleracea var. acephala DC、英名：Kale）アブラナ科
ケールは地中海原産のアブラナ科の野菜で、キャベツの変種。別名、羽衣カンラン、緑葉カンラン、コラードともいう。
近年、アブラナ科の野菜(ブロッコリー、ケール、キャベツ、カリフラワー、芽キャベツ、コマツナ、チンゲンサイ、ワサビなど)に含まれるイソチオシアネート類の効果が注目されている。イソチオシアネート類は、解毒酵素を誘導する効果が強く、がん予防に効果あること、ピロリ菌に対する強力な抗菌作用があること、強力な抗酸化作用により動脈硬化予防効果があること、血糖上昇抑制作用やアレルギー改善作用があることなどが報告されている。ケールは、イソチオシアネート類のほかにビタミン類やミネラル類も多く含まれることもあり、サプリメントの素材として注目されている。ケールの若い葉が用いられている青汁は、生活習慣病の予防、骨粗鬆症の予防、がん予防、動脈硬化予防などに効果があると話題になり、健康維持・回復が期待されている。

成分・特徴

ケールの主な成分は、タンパク質、脂質、炭水化物、カルシウム、リン、ビタミンA、ビタミンB₁、ビタミンB₂、ビタミンC、食物繊維など。ケール独特の成分は知られていないが、前述の成分がキャベツに比べて豊富である。
アブラナ科の野菜の機能成分はイソチオシアネート類である。

一日摂取量

1日摂取量の目安は、ケールジュース（青汁）として約100～200 g／日程度。

安全性

食品として適切に用いれば安全であると思われる。
授乳中、甲状腺機能低下症の場合は摂取しないほうがよいと思われる。
中国から輸入されたケールに基準値以上の残留農薬を含む事例が報告されている。

相互作用

アセトアミノフェンやオキサゼパムなど（肝臓でグルクロン酸抱合により代謝される医薬品）と併用すると、同薬の代謝を促進（薬物代謝酵素誘導）し血中濃度を低下させ、効果を減弱する恐れがあるので注意が必要である。
肝臓でチトクロームP450-1A2（CYP1A2）で代謝される医薬品も代謝が促進され、効果が減弱する恐れがあるので注意が必要である。
ケールには大量のビタミンKが含有されているので、ワルファリンの効果を減弱する恐れがあるので注意が必要である。

参考資料

今日のサプリメント；丁宗鐵、佐竹元吉編、薬局別冊57(1)、2006
科学的根拠に基づくサプリメントの基礎知識；橋詰直孝監修、堀美智子編、薬事日報、2005
機能性食品素材便覧、清水俊雄、ほか編著、薬事日報社、2004
医療従事者のための機能性食品ガイド、吉川敏一、ほか編集、講談社、2004
サプリメント事典；日経ヘルス編、日経BP社、2004
わかるサプリメント健康食品Q&A；古泉秀夫編著、じほう、2003

ほか

私のルーツ ～岩手に惚れて～

盛岡支部 大橋 正和

はじめまして、盛岡支部の大橋正和と申します。現在は、岩手郡滝沢村で調剤薬局をしています。今回は自己紹介を兼ねながら、私のルーツについてお話したいと思います。

私の出身は、昔の戦国武将北条早雲が拠点としました相模の国小田原、現在は神奈川県西部に位置する、人口約20万人の街に生まれました。西を見れば天下の剣箱根山がそびえ、北を見れば足柄山の金太郎で有名な金時山、その向こうには日本の霊峰富士山が見渡せます。また、南を見れば相模湾が群青色に輝き、東を見れば湘南海岸が弓状に鎌倉方面に伸びております。気候も温暖で、雪が降るのが年に1～2回、降ってもべちゃ雪かすぐ溶けてしまいます。食べ物も近海物の魚がおいしく、それで作った蒲鉾や干物が有名です。小田原訛りとしては、現在テレビで活躍中のスマップの中居君と同じで、「～だべ。」とか「～けえ。」などが語尾につきます。

そのような土地柄の中で、父；大橋勝三、母；米子（旧姓；原澤）の元、姉二人の末っ子長男に生まれました。比較的家族や周りの人達にも恵まれ、地元の県立西湘高校を卒業し、北里大学に入学、その後バイエル薬品に入社してMRとなり岩手県盛岡市に住むようになりました。

父はその学区で一番の県立小田原高校に入り、同級生にはあの脚本家で有名な山田太一氏がいたそうです。父が言うには、高校時代の山田氏はすごく成績が良かったわけではないが、異才を放っていたそうです。そんな父は、二松学舎大学を卒業して祖父と同じく郵便局の職員として働いておりましたが、30代の時教員免許をとり茅ヶ崎の小学校に勤め、後半は箱根温泉小学校（学校に温泉があるので有名）の校長で終えました。教職時代は必ず一人はいる怖い先生で、家庭でも厳しく、気難しい親父でした。父が言うには、この性格は祖父譲りだそうで、その祖父はあの関東大震災で父母兄弟親戚もいっぺんに亡くしてしまい、その苦勞のせいもあって気難しくなったのではないかとのことです。

母の家系は、あの「いざ鎌倉へ」と鎌倉幕府を倒したことで有名な源氏の嫡流新田義貞公です。家紋は[●]一両引きで、端午の節句の時にはその旗が青空にたなびくのを誇らしく思っていました。残念ながら親戚である家紋[●]二両引きの足利尊氏に敗れてしまい、室町幕府時代となっていくのですが、本当に世が世ならでした。母の旧姓原澤は、その源氏の源の字をくずしてなったと聞いており、親戚の伯父達は皆、義正、義一、義光、義照等義の字が全員ついております。子供の頃母の実家へ行ったとき、床の間には新田義貞の稲村ヶ崎での戦いの掛け軸が飾られていたのを未だに覚えております。

そんなこともあって私は歴史小説が好きになり、いろいろと本を読んでいます。最近では自分の祖先でもある新田義貞の本を買いあさり、詳しく知ることにより子供らに伝えたり、他人と会った時の一つの話にでもなればと思っております。

さて、そういう私は盛岡に来て色々な先生方にお世話になりながらMR生活を約14年やり、その間に最愛の妻と娘を持つことができ、家も滝沢に建てました。北にそびえる岩手山、小田原にはないはっきりとした四季とその季節毎のおいしい料理、何ととっても人情味のある人達との出逢いで岩手に惚れてしまい、永住することを決めました。しかしその時私は、薬科大学をただ卒業しただけで薬剤師免許を持っておらず、ただの薬学師でした。このままMRでは、いつ転職になってもおかしくないと思い、これまで何回か薬剤師の国家試験を受けてきてはいたのですが、平成16年、今年こそは本腰を入れて勉強した結果、11年めにし何とかなることができました。そして又、いろいろな人達にお世話になりながら無事、滝沢で調剤薬局を出来ることになりました。

一期一会、人に過去あり歴史あり、温故知新、自分の過去といままでお世話になった人達に感謝しながら、今後も頑張って生きていく所存です。

次回は、さんぺい薬局の川崎卓先生にお願いしました。



職場紹介



リーフ薬局（盛岡支部）

佐藤 香紀

平成18年4月に開局し、3年目を迎えたリーフ薬局です。今が旬(?)の盛南地区、ヤマダ電機前の交差点を南に少し入ったところ、やまなか家の対面にあります。風向きによっては昼夜問わず、食欲をそそる焼肉の匂いが漂ってきます。

薬剤師、事務員ともに力を合わせて日々奮闘しています。近隣の小児科“杜のこどもクリニック”、内科“本宮Cクリニック”の処方箋が中心です。

薬局前の道路がとても広く中央分離帯もあるため、他の医療機関からの処方箋をお持ちになる方は多くありません。近所の方、南の医療機関から北に向かう方が数人いるくらいです。

小児科のシロップや散薬の調剤と、内科からの一包化調剤、これらに追われて結構忙しい毎日を送っています。

待合は小児科の親子、兄弟連れがなどで賑やかです。本の読み聞かせをしている親子も多く、いつの時代も変わらないなあと思います。その様子を隣で内科の少しお年を召した方が微笑みながら眺めている光景があったり、時には会話風景も。和やかでいい感じの時もあります。

患者様にとって“また来てもいい薬局”になれるように、これからも奮闘の日々が続くと思います。



〒020-0851 盛岡市向中野字千刈田72-1
TEL 019-656-5877
FAX 019-656-5878

はやせ薬局（遠野支部）

はやせ薬局は、平成19年7月にラッキーバッグ株式会社（本社：山形県最上郡舟形町）の10店舗目として遠野市に開局しました。今年で2年目とまだ若い薬局です。遠野駅のすぐ裏側の通りに位置し、店の名前は後ろを流れる早瀬川に由来しています。

当薬局は、通常の保険調剤の他に在宅患者への訪問指導や一般用医薬品の販売にも力を入れています。

（薬剤師：常勤1名、非常勤3名 事務：2名）

【応需先医療機関】

主な応需先医療機関は、隣接している脳神経外科の「守口医院」です。守口医院は遠野市では唯一の脳神経外科で、脳血管疾患の一次救急としての役割の他に、リハビリ、在宅診療などの地域医療を担っている医療機関です。他の応需先としては、遠野市に不足している診療科があるため、釜石、盛岡などの医療機関からも数件受け付けしています。

【在宅医療への取り組み】

在宅医療は、社内のどの店舗でも実施していない業務であったため、右も左も分からない状態でスタートしました。現在は、数名の患者さんに利用して貰っています。在宅の利用患者さんやご家族との関係作り、他の医療関係職種、特に介護職種の皆さんとの連携など、まだまだ課題は多い状態ですが、少しずつ課題を乗り越え、地域医療へ少しでも貢献出来るよう努力していきたいと考えています。

【一般用医薬品の販売】

調剤薬局は、医療用医薬品の他に、セルフメディケーションでも、患者さんに貢献していくことが、期待されていると考えています。すこしでも患者さんのニーズに応えられるよう一般用医薬品、介護用品の充実に取り組んでいます。



〒028-0521 遠野市材木町2-28
TEL 0198-63-2155
FAX 0198-60-1270



話題のひろば

処方せん様式変更後の後発品

～その対応・トラブルなど～

卸売り販売業 T・O

処方箋様式の変更から半年が経ちましたが、私たち卸にとっては想定していたよりも影響が少なかったように感じます。

様式変更前の時点では後発品がどの程度広まるのか予測できず、後発メーカーが先発メーカーと同様に安定供給可能なのかなど、確かに流通の面での不安はありました。しかし、実際にふたを開けてみると特に大きな変化は無かったように思います。県内ほとんどの県立病院の処方方は院内で採用になっているメーカー指定ですし、多くの開業医の先生は実際にMRが訪問しているメーカーを指定して後発品を処方しています。そのおかげで在庫を揃えておくのにもある程度製品を絞やすく、同一成分で複数メーカーの製品を置いておくというリスクもありませんでした。

今後、どの程度後発品が広まっていくかはわかりませんが、私たち卸は市場の変化に柔軟に対応し、これまで以上にメーカーと連帯して安定供給と情報提供に努めていかなければならないと感じています。

♪ ♪ ♪ ♪ ♪

処方せん様式変更後の後発品

～その対応・トラブルなど～

保険薬局 夢多き男

4月以降、患者自身からの後発品への切り替え希望は少しずつ散見されるようになった。一部の薬局では国の方針に従い、積極的に切り替えを進めているところもあるようですが、薬局での後発品への切り替えの後は、その後発薬品に関することは薬剤師の責任であることを考えると、切り替えは否応にも慎重にならざるを得ない。抗がん剤、循環器系薬、精神薬などは先発品でも起こり得る副作用とか、外用剤での使用感、副作用の問題が発生した場合、その対応に苦慮することも想像されるであろう。私の薬局では、ジェネリック薬品の説明ポスターは一応掲示してますが、症状が変わりなく、長年服用している消化器系薬剤、消炎

鎮痛剤やビタミン剤についてはその後発品の説明をし、患者が希望すれば切り替えるようにしています。即ち薬効を考慮しています。しかし、同等品といえどもやはり安全を最優先したいです。今の段階では、まだ後発品を100%は信頼できないと思う。

♪ ♪ ♪ ♪ ♪

処方せん様式変更後の後発品

～その対応・トラブルなど～

保険薬局 J・N.

筆者が所属するK管内の県立病院では、処方せんの様式が変わる本年4月に病院の維持管理システムの変更が行われ、まるで別の病院の処方せんを見るようなショックで年度の幕が開けられた。後発医薬品への変更が不可の場合、処方医の記名がなされるはずの欄が異様に狭い。署名なんてとても無理、というレイアウト。どうなることかと危惧していると案の定。指定の欄に記名はあるが押印が無い、あるいは、備考欄に「後発医薬品への変更不可」と印字される例が出現。システム変更で必要以上のストレスがかかっていることは十分予想されるので、先方のご機嫌を損ねないように配慮しながらの疑義照会。一番厄介なのは、初め変更可の処方せんを持参した患者が、次回来局時、変更不可に変わる例。これでは患者が混乱するばかりなので、薬剤科を通して診療科での意思統一をお願いした。

成分名処方せんへの道は未だ険しい。保険薬局薬剤師には、努力と精進あるのみ、だ。

♪ ♪ ♪ ♪ ♪

処方せん様式変更後の後発品

～その対応・トラブルなど～

保険薬局 以心伝心

診療・調剤報酬の改定によりH20.4から新処方せん様式により、後発品変更可の処方せんを受け取る回数が増えていると考えられますが、現状と今後の展望はどうでしょうか？

新規受付の患者と信頼関係の深い患者とでは、



後発品への変更を提案する薬剤師への態度が大きく異なる場合はないでしょうか？筆者の経験では患者との信頼関係が大きい程後発品への変更がスムーズとなり、変更後のクレームのリスクも減らせると実感しています。どうやら患者は信頼していない薬剤師が薦める後発品を「粗悪品」と解釈し、その薬剤師を「粗悪品」を売りつける「商人」と受け取ることがあるようです。

現在の医師主導型ではなく、薬のプロとして薬剤師と患者主導型の代替調剤制度へ発展できるかどうかは、今医療の現場で働く薬剤師にかかっています。

制度が変わった事を好機として、治療費削減等による受診や薬の使用におけるノンコンプライアンスの改善や、薬識向上に貢献できる最大のチャンスと捉え応対したいものです。



処方せん様式変更後の後発品 ～その対応・トラブルなど～

保険薬局 R. K

医薬品にはプラセボ効果と言われる心理的要素由来の効果がある程度見られるものだが、後発品に関しては、そのプラセボ効果の逆効果、すなわち、安い薬にしたために効かないのではないかと、不安から、本当に効きが弱い気がする……とか、こんな症状があるが副作用なのではないか……という訴えがないわけではない。「ジェネリック医薬品にしたためではありません」と断言できる訳はなく（データの問題ではなく患者さんの気持ちの部分で考えると）「それではまた前の薬に戻しましょうか」とジェネリックの在庫を頭に浮かべながら対応せざるを得ない。

最近、2週間以上の処方なら投与日数にかかわらずお試しを薦めているが、患者さんが少し不安感を抱いているかも、と思うと、一歩踏み込んでジェネリックを薦めることに躊躇する。

いずれ、後発品の使用量アップはわれわれ薬剤師が患者さんにどれだけきちんと向き合ったか、そして、どれだけ信頼されたかの指標なのではないのだろうかと感じている。



処方せん様式変更後の後発品 ～その対応・トラブルなど～

保険薬局 S. T

後発品への変更については、患者様によって意見が様々です。

変更せずに、今までどおりの先発品を希望される方もいれば、変更できるもの全てを後発品に変えてほしいという患者様もいます。

変更を行う場合、数種類の変更可能品目があっても1品目ずつ行うよう患者様に説明しています。

副作用発現時に、副作用の原因となった可能性のある品目を特定するためです。

しかし、「とにかく安い方がいいんだ」と、一度に変更可能品目全ての変更を希望される方がいます。

そういった方には、後発品服用開始後も連絡を取り、体調の変化等の聞き取りを続けて行くという対応をとっております。

幸いなことに、今のところ、重大な副作用の発現はありません。

次号の「話題のひろば」のテーマは、

『服薬指導の成功例・失敗例』です。

ご意見は県薬事務局へ FAXかE-mailで。



会員の動き



(平成20年9月1日～平成20年10月31日)

☆会員登録の変更について

勤務先・自宅住所・雑誌発送先・薬剤師区分等に変更があった場合は、変更報告書（3枚複写）を提出していただく必要があります。電話等で県薬事務局に用紙を請求して下さい。

☆退会について

退会を希望される場合は、退会届（3枚複写）を提出していただく必要があります。県薬事務局まで連絡をお願いします。

(9月入会)

支部	業態	氏名 勤務先	〒	勤務先住所	勤務先TEL	勤務先FAX	出身校 卒業年
盛岡	4	戸澤勝清 せんぱく調剤薬局	020-0861	盛岡市仙北3-13-22	019-635-0330	019-635-5188	東北薬大 S36
盛岡	7	室伏英恵 大塚製薬(株)盛岡出張所	020-0121	盛岡市月が丘3-50-5	019-641-9125	019-641-6141	北医療大 H17
奥州	6	伊藤友見 つくし薬局前沢店	029-4208	奥州市前沢区二十人町53-1	0197-41-3663	0197-41-3662	東北薬大 H19
気仙	6	岩元厚智 つくし薬局猪川店	022-0004	大船渡市猪川町字中井沢10-10	0192-21-3663	0192-27-0066	第一薬大 H20
気仙	4	小野達彦 スマイル薬局高田店	029-2205	陸前高田市高田町館の沖18-2	0192-53-2051	0192-53-2052	東北薬大 S53
釜石	6	谷重理 おおぞら薬局	026-0025	釜石市大渡町2-6-12	0193-31-2030	0193-31-2031	東北薬大 H14

(10月入会)

支部	業態	氏名 勤務先	〒	勤務先住所	勤務先TEL	勤務先FAX	出身校 卒業年
盛岡	7	阿部由美 盛岡繁温泉病院	020-0055	盛岡市繁字尾入野64-9	019-689-2101	019-689-2880	東北薬大 H17
盛岡	6	辛裕美子 会管内丸薬局	020-0023	盛岡市内丸17-24	019-625-1927	019-625-1928	北薬大 H14
盛岡	6	杉山智恵子 銀河薬局	020-0866	盛岡市本宮字宮沢57-1	019-635-8911	019-635-8912	理科大 S63
盛岡	6	鈴木江里子 アポロ薬局	020-0866	盛岡市本宮1-6-11	019-636-4332	019-636-4331	北陸大 H7
盛岡	7	千葉和昭 サノファイ・アベシ ティス(株)	020-0034	盛岡市盛岡駅前通16-21 盛岡駅前通ビル3F	0120-852-297	019-653-6525	東北薬大 H4

支部	業 態	氏 名 勤 務 先	〒	勤 務 先 住 所	勤務先TEL	勤務先FAX	出身校 卒業年
盛岡	9	新 田 ゆかり					神女薬大 S56
盛岡	4	藤 井 純 也 はるかぜ調剤薬局	020-0021	盛岡市中央通2-2-14	019-625-7571	019-625-7578	城西大 H17
盛岡	1	吉 本 勝 廣 (株)富士ファミリー ファミシー	101-0062	千代田区神田駿河台2-5-23 6F	03-4332-3420	03-4332-3423	名城大 S46
花巻	6	佐 藤 容 子 タカハシひかる薬 局	025-0091	花巻市西大通り2-11-3	0198-41-1340	0198-41-1341	昭和大 H3
北上	1	大 塚 吉 史 クラフト薬局北上 九年橋店	024-0063	北上市九年橋3-18-5	0197-64-2248	0197-65-0902	星薬大 S56
奥州	5	木 田 篤 朋 イオンリテール(株) ジャスコ前沢店	029-4204	奥州市前沢区向田2-85	0197-41-3111	0197-41-3011	北陸大 H10
一関	6	千 石 雅 子 千厩調剤薬局	029-0803	一関市千厩町千厩字草井沢43-1	0191-51-1666	0191-51-1660	北薬大 H20
一関	6	松 田 泰 毅 一関ドライブスルー 薬局	029-0131	一関市狐禅寺字大平123-2	0191-31-8805	0191-31-8806	東北薬大 H20
二戸	6	松 尾 智 仁 つくし薬局二戸店	028-6103	二戸市石切所字川原28-10	0195-22-3311	0195-23-8811	東北薬大 H15

(9月変更)

支部	氏 名	変更事項	変 更 内 容
盛岡	岩 渕 敦 子	勤務先	〒020-0874 盛岡市南大通1-6-10 いわぶち薬局 電話019-622-2345
盛岡	金 子 和 子	勤務先住所	紫波町北日詰字八反田52
盛岡	久保田 奏	勤務先及び 支部	〒028-7303 八幡平市柏台2-8-2 東八幡平病院 電話0195-78-2511 FAX0195-78-3437 旧支部花巻
盛岡	齊 藤 暁 子	勤務先	退職
盛岡	鈴 木 純	勤務先	〒023-0816 奥州市水沢区西町5-22 すこやか薬局 電話0197-51-1517 FAX0197-51-1518
盛岡	中 野 成 子	勤務先住所	紫波町北日詰字八反田52
盛岡	向 井 康 倫	勤務先及び 支部	〒028-7111 八幡平市大更24-1-118 アイン薬局西根店 電話0195-70-2311 FAX0195-70-2312 旧支部二戸
盛岡	山 内 雅 子	勤務先	〒020-0885 盛岡市紺屋町1-36 ユニオン薬局 電話019-625-3187 FAX019-625-5969
盛岡	山 本 千 絵	勤務先	〒020-0133 盛岡市青山4-45-8 みたけ薬局 電話019-645-1030 FAX019-645-1107
盛岡	蓬 田 睦 史	勤務先及び 支部	〒020-0146 盛岡市長橋町17-40 ナガハシ薬局 電話019-648-8227 FAX019-648-8228 旧支部花巻
花巻	小 原 ゆかり	勤務先	〒023-0046 奥州市水沢区川原小路17 水沢センター薬局 電話0197-22-2100 FAX0197-23-3600
北上	林 尻 英 佳	勤務先及び 支部	〒024-0055 北上市大堤南1-1-24 調剤薬局ツルハドラッグ大堤店 電話0197-67-6324 FAX0197-67-6304 旧支部花巻
奥州	及 川 章 子	勤務先	〒023-0104 奥州市水沢区羽田町駅前1-51-1 みどり薬局羽田店 電話0197-23-4886
奥州	小野寺 豊	勤務先	〒023-0403 奥州市胆沢区若柳字甘草324 ふれあい薬局 電話0197-41-4110 FAX0197-46-5150
奥州	後 藤 裕 章	勤務先	〒025-0086 花巻市鍛冶町13-1 ワカバ薬局 電話0198-23-7400 FAX0198-23-7048
奥州	土 谷 彩 子	勤務先	〒023-0046 奥州市水沢区川原小路17 水沢センター薬局 電話0197-22-2100 FAX0197-23-3600

支部	氏 名	変更事項	変 更 内 容
奥州	皆 川 貴 洋	勤務先	〒023-0403 奥州市胆沢区若柳字甘草324 ふれあい薬局 電話0197-41-4110 FAX0197-46-5150
一関	菅 野 和 規	勤務先及び 支部	〒029-0202 一関市川崎町薄衣字久伝17-1 つくし薬局川崎店 電話0191-36-5002 FAX0191-43-2655 旧支部気仙
気仙	石 川 準 二	勤務先及び 支部	〒022-0004 大船渡市猪川町字中井沢10-10 つくし薬局猪川店 電話0192-21-3663 FAX0192-27-0066 旧支部二戸
気仙	黄川田 尚 子	勤務先	〒029-2205 陸前高田市高田町字館の沖78-1 森の前薬局中央店 電話0192-53-1881 FAX0192-55-1222
気仙	細 川 明 子	勤務先及び 支部	〒022-0004 大船渡市猪川町字中井沢10-10 つくし薬局猪川店 電話0192-21-3663 FAX0192-27-0066 旧支部釜石
宮古	吉 田 祥 子	勤務先	〒027-0023 宮古市磯鶏沖15-11 つくし薬局磯鶏店 電話0193-71-2100 FAX0193-71-2101
二戸	佐 藤 宗 子	勤務先及び 支部	〒028-5301 一戸町西法寺字稲荷21-1 めぐみ薬局 電話0195-31-1800 FAX0195-32-2228 旧支部盛岡

(10月変更)

支部	氏 名	変更事項	変 更 内 容
盛岡	岩 崎 優 子	勤務先	〒020-0173 滝沢村滝沢字菓子1155-18 ひとみ薬局 電話019-694-3520 FAX019-688-8350
盛岡	小田島 幸 子	勤務先	退職
盛岡	府 金 康 子	勤務先	〒020-0066 盛岡市上田1-7-17 こずかた薬局 電話019-654-7722 FAX019-654-7773
奥州	佐々木 静 子	勤務先	〒023-0889 奥州市水沢区字高屋敷24-1 永薬品商事(株) 電話0197-24-4244 FAX0197-25-2116
気仙	戸 次 竜太郎	勤務先及び 支部	〒029-2311 住田町世田米字大崎25-4 そうごう薬局住田店 電話0192-49-1151 FAX0192-49-1152 旧支部一関
宮古	安 見 一 幸	勤務先	〒027-0085 宮古市黒田町7-6 ミドリ薬局宮古中央店 電話0193-62-0012 FAX0193-62-0018

9月退会

(盛岡) 黒川 寛行、谷藤 由佳、府川 亜希、古川 綾子 (気仙) 堤 啓、日山 博
(宮古) 小角 哲也、熊木 誠吾、佐々木 夏子 (二戸) 千葉 佐知子、千葉 浩彦
(賛助) 鈴木 晃

10月退会

(盛岡) 新井 嗣雅、生田 彩希子 (花巻) 高見 欣司 (北上) 大塚 敏
(一関) 松本 未央、渡邊 幸恵 (気仙) 神山 将人
(賛助) 中川 光弘 (サノファ・アベンティス(株))

会 員 数

	正 会 員	賛助会員	合 計
平成20年10月31日現在	1,614名	107名	1,721名
平成19年10月31日現在	1,590名	104名	1,694名

保険薬局の動き

新たに指定された保険薬局

支部名	指定年月日	薬局名称	開設者名	〒	住所	TEL
盛岡	H20.10.01	みつばち薬局	佐々木 俊	020-0121	盛岡市月が丘1-1-63	019-647-3888
宮古	H20.10.01	ミドリ薬局宮古中央店	安見 郁雄	027-0085	宮古市黒田町7-6	0193-62-0012
盛岡	H20.11.05	あおい薬局	工藤 裕子	020-0066	盛岡市上田4-20-60	019-604-7103
花巻	H20.11.01	(株)広田薬品花巻駅前薬局 (移転)	高見 幸江	025-0092	花巻市大通り1-10-28	0198-41-1777

廃止した保険薬局

支部名	廃止年月日	薬局名称	開設者名	〒	住所	
花巻	H20.08.31	(有)ワカバ薬局	佐々木房子	025-0086	花巻市鍛冶町13-1	
盛岡	H20.08.31	(有)ミドリ薬局日詰店	金子 和子	028-3309	紫波町北日詰字八反田55-5	(移転開設の 為)
二戸	H20.08.31	(有)はたさわ薬局	畠澤 徳行	028-6302	軽米町大字軽米第4地割40-4	(移転開設の 為)
二戸	H20.08.30	おかりや薬局	千葉 浩彦	028-6302	軽米町大字軽米第3地割52-4	

求人情報

受付日	種別	勤務地	求人者名	勤務時間		休日	その他
				平日	土曜日		
20.11.13	保険薬局	花巻市西大通り	パール薬局	8:30～18:30	8:30～13:00	木・土の午後、日、祝祭、お盆、年末年始	パート可 保育料の補助あり
20.11.12	保険薬局	滝沢村鶴飼狐洞	おはよー調剤	9:00～18:00	9:00～13:00	第2第3土曜日、日祝祭日	パート可
20.11.12	保険薬局	盛岡市盛岡駅前通	ひまわり薬局	8:30～17:30	8:30～14:00 (木、土曜)	日、祝祭日 土曜日は毎月1回	
20.11.7	保険薬局	宮古市向町	健康堂薬局	9:00～17:30	9:00～13:00	日祝祭日	パート可
20.10.30	保険薬局	盛岡市上田1	リード薬局	9:00～19:00	9:00～13:00	日、祝祭日、土	パート可 シフト制
20.10.10	保険薬局	盛岡市中野1	あさがお薬局	9:00～18:00	9:00～14:00	日祝祭日	パート可
20.9.29	医薬品製造販売	八幡平市松尾寄木	グローバル伸和製薬	10:00～15:00	10:00～15:00	週休二日	パート可
20.9.22	保険薬局	北上市上江釣子	フジ調剤薬局	9:00～18:00	9:00～14:00	日祝祭日	パート可
20.9.18	保険薬局	滝沢村滝沢字穴口	キリン薬局	9:00～18:00	8:30～12:00 (木、土、日)		土、日、祝日アルバイト募集
20.9.10	病院	釜石市大渡町3	釜石のぞみ病院	8:30～17:00	8:30～12:30	日・祝祭日	4週6休・パート可
20.9.3	保険薬局	盛岡市本宮1	アポロ薬局	9:00～17:15	9:00～13:00	日、祝祭日	4週6休
20.9.1	保険薬局	一関市山目町	中里薬局	8:30～17:30	8:30～13:00	日、祝祭日	パート週2.5日
20.8.4	保険薬局	大船渡市大船渡町字山馬越	気仙中央薬局	8:00～19:00	9:00～13:00	日・祝祭日、土曜日隔週	パート可
20.8.29	保険薬局	盛岡市向中野	リーフ薬局	8:30～18:30	8:30～12:30 (水・土曜日)	日祝祭日	平日はシフト制、昼休90分、パート可
20.8.28	保険薬局	盛岡市南仙北3	オーロラ薬局	9:00～17:30	9:00～12:45	日、祝祭日(4週6休)、パート可	4週6休パート可
20.8.28	保険薬局	盛岡市上田4	あおい薬局	8:30～18:00	8:30～12:30 (木・土曜日)	日祝祭日	10月中旬から採用
20.8.22	保険薬局	久慈市門前	ハーモニー薬局	9:00～13:00	-	土、日、祝祭日	パート

受付日	種別	勤務地	求人者名	勤務時間		休日	その他
				平日	土曜日		
20.8.21	保険薬局	盛岡市内7店舗、雫石町内1店舗、大迫町内1店舗	(株)アオキファーマシー	9:00～18:00	9:00～13:00	日、祝祭日	週40時間勤務 パート可
20.8.21	保険薬局	雫石町八卦	しずくいし薬局	9:00～18:00	9:00～13:00	日、祝祭日	パート可
20.8.21	保険薬局	花巻市大迫町	おおはさま薬局	8:30～12:30	-	土、日、祝祭日	パート
20.7.31	病院	盛岡市東見前	都南病院	8:30～17:00	8:30～12:30	日祝祭日	
20.7.17	病院	北上市花園町	北上済生会病院	8:30～17:15	-	週休2日制	
20.7.17	病院	岩泉町	岩泉病院	8:30～17:15	-	週休2日制	
20.7.17	保険薬局	山田町境田町	クリス薬局	8:00～17:30	8:00～12:30	日、祝祭日	
20.6.27	病院	大船渡市大船渡町字山馬越	岩手県立大船渡病院	8:00～17:00	-	週休2日制	
20.6.27	病院	盛岡市月が丘1	三愛病院	8:30～17:00	8:30～12:30	日、祝祭日 土曜日月3回	
20.6.11	病院	盛岡市下ノ橋町	遠山病院	9:00～17:30	9:00～12:30	日・祝祭日	
20.5.9	保険薬局	陸前高田、大東、住田、岩手各地4店舗	総合メディカル	8:30～18:00	-	土、日、祝祭日	週40時間シフト
20.5.7	病院	盛岡市東見前	都南病院	8:30～17:00	8:30～12:30	日祝祭日	
20.5.22	保険薬局	県内32店舗10名	ライブラリー	9:00～18:00	-	完全週休二日制	勤務地、時間 相談可
20.5.2	保険薬局	宮古市実田2	ミドリ薬局	9:00～18:30	9:00～13:00	日祝祭日	パート可
20.5.2	保険薬局	渋民、一関、金ヶ崎ほか東北六県の店舗	イオンスーパーセンター	10:00～19:00	10:00～19:00	週休2日制・ 年間109日	勤務地限定の契約 社員も同時募集中
20.5.19	保険薬局	盛岡市前九年	グリーン薬局	10:00～13:00	10:00～13:00	日・祝祭日 第2、4土曜	月、木、金、土 曜日
20.5.16	病院	盛岡市手代森	岩手晴和病院	8:30～17:00	8:30～12:30	日、祝祭日	4週6休
20.4.21	保険薬局	盛岡市緑ヶ丘3	かえで薬局(仮称)	8:30～18:00	8:30～15:30	日祝祭日	木曜日は12:30 まで、パート可
20.4.15	保険薬局	盛岡市緑ヶ丘3	エメラルド薬局緑ヶ丘店	9:00～18:00	9:00～13:30	日祝祭日	神明町、山岸、仙北、 肴町に店舗あり
20.4.11	保険薬局	盛岡市玉山区好摩字夏間木107	まつや調剤薬局	9:00～18:00	9:00～13:00	日祝祭日 週休二日	
20.4.10	保険薬局	盛岡市長橋町	ナガハシ薬局	8:30～18:00	8:30～12:30 (水・土曜日)	日祝祭日	
20.4.10	保険薬局	二戸市福岡字八幡下	あかまつ薬局	9:00～18:00	9:00～12:00 (水・土曜日)	日祝祭日	
20.4.10	保険薬局	花巻市大通り1	花巻駅前薬局	9:00～18:00	9:00～12:00 (水・土曜日)	日祝祭日	
20.4.1	保険薬局	盛岡市前湯	ジャスコ盛岡店薬局	9:00～23:00	9:00～23:00 (土・日)	4週間に5日以上	シフト制
20.4.1	保険薬局	盛岡市本宮、向中野、北上市一さくら通り、柳原町	ライフファーマ	9:00～18:00	9:00～13:00	日祝祭日	(公休日2～3回)
20.3.25	保険薬局	盛岡市永井	かつら薬局	8:30～18:00	9:00～15:00	日・祝祭日	4週6休
20.3.25	保険薬局	花巻市花城町	花城薬局	8:30～17:30	8:30～12:30	日・祝祭日	
20.3.25	保険薬局	花巻市星が丘	ほしがおか・花城薬局	8:30～18:00	8:30～15:00	日、祝祭日	
20.3.13	保険薬局	盛岡市上田1-18-44	あおば薬局	9:00～18:00	9:00～13:00	日祝祭日	週休二日制
20.3.10	保険薬局	一関市内3箇所	(有)一関保険薬局	9:00～18:00	9:00～13:00	日・祝祭日	
20.3.10	保険薬局	一関市山目町	かめちゃん調剤薬局	9:00～18:00	9:00～16:00 水・土曜	木、日祝祭日	パート可
20.3.10	保険薬局	陸前高田市小友町字下新田	小友調剤薬局	8:30～17:30	8:30～12:30	日、祝祭日、 水曜日	パート可
20.3.10	病院	釜石市大渡町3	釜石のぞみ病院			日・祝祭日	
20.2.7	保険薬局	久慈市旭町10	ホソタ薬局	9:00～18:00	9:00～18:00	月8回、年間休日115日	
20.2.6	卸	宮古市八木沢	スズケン岩手 宮古支店	8:30～17:15	-	土日祝祭日	
20.2.27	保険薬局	滝沢村滝沢字穴口	キリン薬局	9:00～18:00	8:30～12:00 (土、日曜)		月2～4回勤務
20.2.14	保険薬局	盛岡市本宮字宮沢	銀河調剤	9:00～18:00	-	土日祝祭日	

■岩手県薬剤師会【薬剤師無料職業紹介所】では、求人、求職ともそれぞれ、「求人票」、「求職票」を登録のうえでのご紹介となっております。登録をご希望のかたは、直接来館または、「求人票」「求職票」を送付いたしますので県薬務事務局（電話 019-622-2467）までご連絡ください。受付時間は（月～金／9時～12時、13時～17時）です。なお、登録については受付日～三ヵ月間（登録継続の連絡があった場合を除く）とします。



図書紹介



1. 「保険薬局Q & A平成20年版」

発行 じほう
判型 A 5判 159頁
定価 2,100円(税込)
会員価格 1,750円(税込)
送料 ①県薬及び支部に送付の場合無料
②個人宛一律500円、10冊以上
同一箇所に送付の場合無料

2. 「妊娠・授乳とくすりQ & A」

発行 じほう
判型 A 5判 182頁
定価 2,100円(税込)
会員価格 1,890円(税込)
送料 ①県薬及び支部に送付の場合無料
②個人宛一律500円、10冊以上
同一箇所に送付の場合無料

3. 「OTC医薬品の基礎知識」

発行 じほう
判型 新書判 219頁
定価 2,310円(税込)
会員価格 2,000円(税込)
送料 ①県薬及び支部に送付の場合無料
②個人宛一律500円、10冊以上
同一箇所に送付の場合無料

4. 「OTC医薬品副作用ハンドブック」

発行 じほう
判型 新書判 199頁
定価 1,995円(税込)
会員価格 1,700円(税込)
送料 ①県薬及び支部に送付の場合無料
②個人宛一律500円、10冊以上
同一箇所に送付の場合無料

5. 「オレンジブック保険薬局版2008年10月版」

発行 薬事日報社
判型 B 5判 366頁
定価 4,515円(税込)
会員価格 3,900円(税込)
送料 ①県薬及び支部に送付の場合無料
②個人宛一律350円、10冊以上
同一箇所に送付の場合無料

6. 「第十二改訂調剤指針増補版」

発行 薬事日報社
判型 B 5判 441頁
定価 3,360円(税込)
会員価格 2,900円(税込)
送料 ①県薬及び支部に送付の場合無料
②個人宛一律350円、10冊以上
同一箇所に送付の場合無料

7. 「やさしい臨床医学テキスト」(「薬剤師・薬学生のための臨床医学テキスト」より名称変更)

発行 薬事日報社
判型 B 5判 502頁
定価 4,620円(税込)
会員価格 4,100円(税込)
送料 ①県薬及び支部に送付の場合無料
②個人宛一律350円、10冊以上
同一箇所に送付の場合無料

8. 「医療用医薬品識別ハンドブック2009」

発行 じほう
判型 B 5判 626頁
定価 5,250円(税込)
会員価格 4,400円(税込)
送料 ①県薬及び支部に送付の場合無料
②個人宛一律500円、10冊以上
同一箇所に送付の場合無料

9. 「健康食品のすべて

ーナチュラルメディシン・データベース第二版」

発行 同文書院
①「書籍版」会員価格 13,800円(税・送料込)
②「Web版統合データベース」会員価格
1アカウント 半年31,500円 1年60,000円
書籍同時購入 63,000円

(データベース正味49,200円)

* 1年契約のみ 申込後、割引コード送付

* 日本薬剤師会雑誌11月号同封申込書または
日本薬剤師会HP会員向けページ掲載の
申込書で、同文書院に直接申し込んでください。

☆図書の購入申し込みは、専用の申し込み用紙で、県薬事務局までFAXして下さい。
専用の申し込み用紙は、県薬ホームページ会員のページからダウンロードしてご利用下さい。
県薬ホームページ <http://www.iwayaku.or.jp/>
会員のページ ユーザー名 iwayaku
パスワード ipa08



お知らせ



薬学薬事関係者新年懇話会のご案内

平成21年の新年懇話会を次のとおりに開催いたします。多数のご参加をお願いいたします。

日 時：平成21年1月17日(土) 午後5時から

場 所：盛岡グランドホテル

申 込 み：所属支部長までお申し出願います

申込締切：平成20年12月末日

日薬会長と当県若手会員との懇談会の開催のご案内

今年度、日薬では児玉会長が全国をまわり、会員、特に若手薬剤師との懇談会を開催することを計画しておりますが、本県については、平成21年1月17日に予定しております「第5回役員・支部長合同会議」並びに「平成21年薬学薬事関係者新年懇話会」に併せて下記のとおりで開催することとなりました。

参加ご希望の方は、所属支部の支部長までお申し出ください。

記

1 第5回役員・支部長合同会議 14:00～15:15

2 若手会員との懇談会 15:30～16:50

児玉会長からのメッセージ

懇 談

3 平成21年薬学薬事関係者新年懇話会 17:00～19:00

無料貸出
ただし、返送料は
個人負担となります

財団法人 日本薬剤師研修センター 生涯教育ビデオライブラリー

この度、Vol.51をもちまして、新刊の制作が終了する運びとなりました。本年12月までは、従来どおりの申込み方法となりますが、2009年より、日本薬剤師研修センターのみでの申込みとなります。日本イーライリリー株式会社での申込みは終了いたしますので、ご注意ください。

Vol.51 漢方処方と服薬指導

監修・指導 丁宗鏡
日本薬科大学 教授

医療用漢方エキス製剤の登場、薬剤師教育6年制などを背景に、薬剤師にとって漢方薬はますます身近なものになりつつあります。このビデオでは、漢方による体質の診断や診察法を紹介しながら、漢方処方と服薬指導について解説していきます。

(時間:約20分)

ライブラリー(既刊)シリーズタイトル

- Vol.1 老化和薬物療法 Part I 薬物の吸収と分布
- Vol.2 老化和薬物療法 Part II 薬物の代謝と排泄
- Vol.3 医薬品情報の使役方法 一般の事例と書き方
- Vol.4 高血圧 なぜ血圧は上がるのか?
- Vol.5 肝臓をめぐって
- Vol.6 インターフェロン
- Vol.7 肥満と薬物 治療すべき肥満とは?
- Vol.8 MRSA感染症 重症例と正しい治療のために
- Vol.9 パーキンソン病
- Vol.10 てんかんと発作
- Vol.11 レボターメタニズム
- Vol.12 甲状腺機能亢進症 バセドウ病の薬物療法を中心に
- Vol.13 かかりつけ薬局の役割 SOAPを中心とした薬歴管理の実際

- Vol.14 花粉症の治療 薬物療法を中心として
- Vol.15 糖尿病と薬物療法
- Vol.16 高齢者への与薬と処方の実際
- Vol.17 骨粗鬆症の薬物療法
- Vol.18 性差と薬
- Vol.19 高齢者の服薬失敗
- Vol.20 「薬剤師法25条の2」施設と薬剤師の法的責任
- Vol.21 薬剤師のコミュニケーション
- Vol.22 抗うつ剤の現状と問題点
- Vol.23 薬物相互作用 なぜ起きる? どう防ぐ?
- Vol.24 更年期における症状・障害と治療
- Vol.25 急性中風と薬剤師 薬物治療提供者としての役割
- Vol.26 アレルギー性炎症 免疫反応と治療

- Vol.27 痴呆のメカニズムと薬物療法
- Vol.28 服薬時間と体内動態
- Vol.29 PEM(処方イベントモニタリング)と薬剤師の関わり
- Vol.30 日本動脈硬化学会高脂血症治療ガイドラインからみた高脂血症の診断と治療
- Vol.31 消化性潰瘍の治療とQOL
- Vol.32 介護保険と薬剤師
- Vol.33 健康日本21と薬剤師
- Vol.34 生活習慣病
- Vol.35 耐性結核菌の増加と最新の治療
- Vol.36 調剤監査と薬害 事故発生時の対応の仕方
- Vol.37 CD-ROM版 ゲノム創薬と21世紀の医療
- Vol.38 うつ病治療の服薬指導

- Vol.39 TDMの重要性と意義
- Vol.40 インフルエンザ
- Vol.41 人獣共通感染症
- Vol.42 健康食品と健康被害
- Vol.43 オビイデオローテーション
- Vol.44 災害医療における薬剤師の役割
- Vol.45 チーム医療における薬剤師の役割
- Vol.46 COPD(慢性閉塞性肺疾患)の診断と治療
- Vol.47 個人情報保護法と薬剤師
- Vol.48 知っておきたい鳥インフルエンザ
- Vol.49 最新のがん化学療法 分子標的薬を知る
- Vol.50 がん薬物療法における薬剤師の役割

□プログラム委員会

- 委員長 矢崎 義雄 独立行政法人 国立病院機構 理事長
- 委員 西垣 亮 静岡県立大学 学長
- 委員 依田 啓司 前 社団法人 日本病院薬剤師会 副会長
- 委員 飯島 康典 前 社団法人 日本薬剤師会 常務理事

- 監修:財団法人 日本薬剤師研修センター
- 協賛:日本イーライリリー株式会社
- 制作:株式会社マッキンゼーヘルスケア ワールドワイド ジャパン
- 後援:社団法人 日本病院薬剤師会 / 社団法人 日本薬剤師会

*本ビデオライブラリーは日本薬剤師研修センターによる研修認定薬剤師制度の教材です。ぜひ活用ください。

申込方法

ハガキまたはFAXにて貸出希望ビデオタイトル、氏名、役職、施設名、住所、電話番号を明記の上、下記宛て送付ください。(郵送までに期間の余裕をみておいてください)

〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-13 三会堂ビル6F
財団法人 日本薬剤師研修センター ビデオ係
TEL: 03(3568)8201 / FAX: 03(3568)0821

または〒651-0086 神戸市中央区磯上通7丁目1番5号
日本イーライリリー株式会社 生涯教育ビデオライブラリー事務局
TEL: 078(242)4020 / FAX: 078(242)9169

編集後記

先日、盛岡で開催された実務実習薬剤師養成ワークショップ（WS）に参加してきた。

過去のWS参加者にどのようなものか聞いたが、教えてもらえずドキドキしながらの参加となった。

長い！疲れた!!が率直な感想だが、とても有意義な2日間だった。これから受講する方のお楽しみ(?)のために内容は教えられないが、大学を卒業して十年、こんなに熱くディスカッションしたことはないし、他県・他職種の薬剤師との交流ができとてもいい刺激を受けることができた。

世の中はどんどん変わっていて、薬学教育も変わっている。この時代の流れに乗り遅れないよう自分自身も進化をしなければならないと思う。

「イーハトーブ」も新しい情報をタイムリーに発信していきます。会員の皆様のご意見・ご要望を是非お願いいたします。

．．．．． お知らせ ．．．．．

(社) 岩手県薬剤師会ホームページ <http://www.iwayaku.or.jp/>

「会員のページ」ユーザー名 **iwayaku**
パスワード **ipa08**

「イーハトーブ」は、会員相互の意見や情報の交換の場です。

会員の皆様からの投稿・意見・要望をお待ちしております。

投稿・意見・要望あて先 県薬事務局 TEL 019-622-2467 FAX 019-653-2273

e-mail ipalhead@rose.ocn.ne.jp

薬剤師会館休館のお知らせ

年末年始につき次の期間は薬剤師会館を閉館いたします。

平成20年12月29日（月）から平成21年1月3日（土）まで

編 集	担当副会長	畑澤博巳
	担当理事(広報委員会)	武政文彦、蒲澤一行、高林江美
	編集委員(編集委員会)	高林江美、白石知子、工藤 晋、三浦祐福、高橋菜穂子

イーハトーブ～岩手県薬剤師会誌～ 第10号

第10号（奇数月1回末日発行）

平成20年11月26日 印刷

平成20年11月30日 発行

発行者 社団法人 岩手県薬剤師会

会長 村井 晃

発行所 社団法人 岩手県薬剤師会

〒020-0876 盛岡市馬場町3番12号

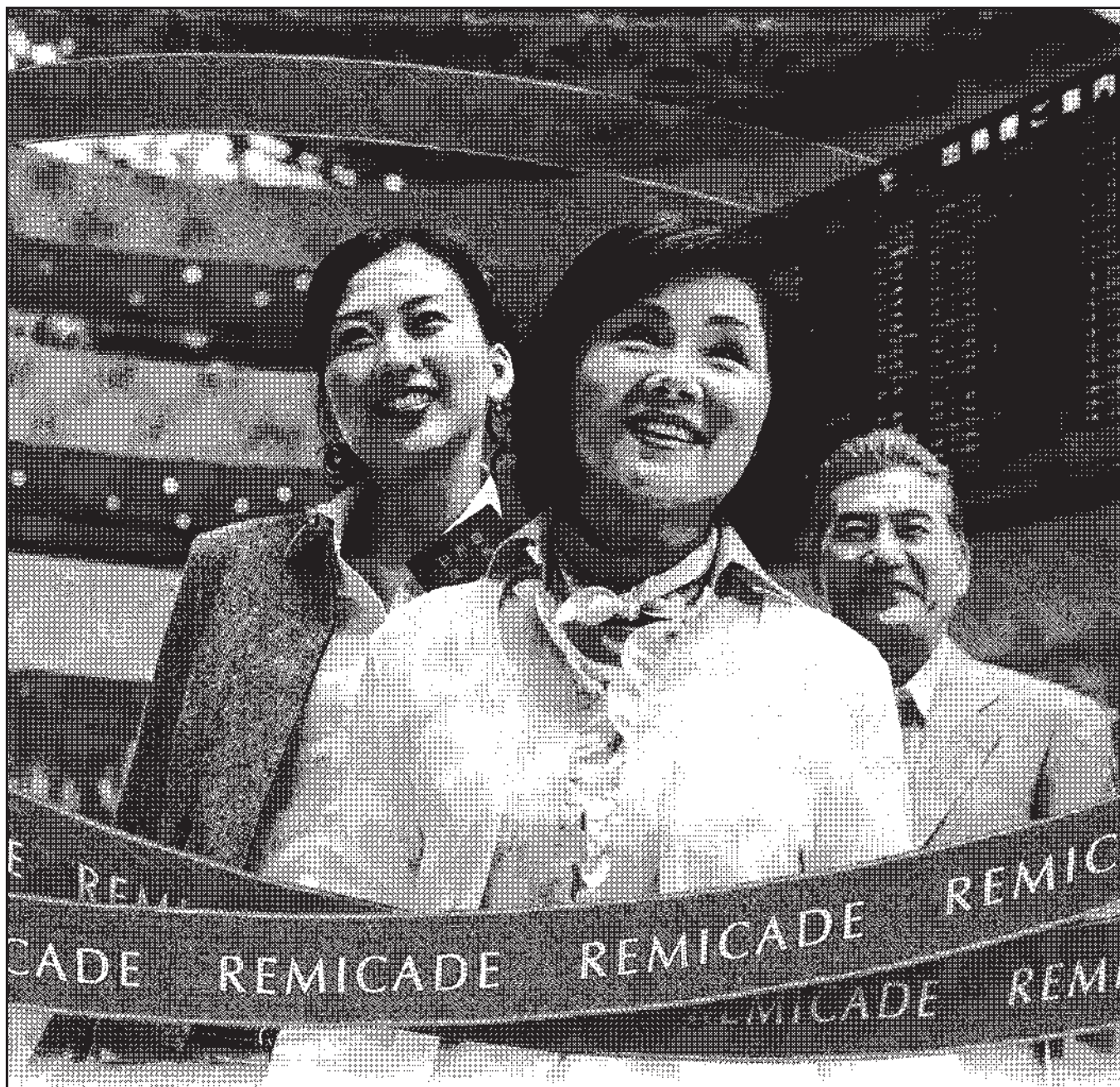
TEL (019) 622-2467 FAX (019) 653-2273

e-mail ipalhead@rose.ocn.ne.jp

印刷所 杜陵高速印刷株式会社

〒020-0811 盛岡市川目町23番2号 盛岡中央工業団地

TEL (019) 651-2110 FAX (019) 654-1084



抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤

薬価基準収載

レミケード®点滴静注用100

REMICADE® for I.V. Infusion100

インフリキシマブ(遺伝子組換え)製剤

生物由来製品 創薬 指定医薬品 地方せん医薬品 (注意-医師等の処方せんにより使用すること)

■ 効能・効果、用法・用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等については、添付文書をご参照ください。



製造販売元(資料請求先)

田辺三菱製薬株式会社

大阪市中央区道修町3-2-10

2008年3月作成

岩手県医薬品卸業協会

株式会社アスカム

〒020-0891 岩手県紫波郡矢巾町流通センター南3-4-12

☎019(638)8181

株式会社小田島

〒025-0311 岩手県花巻市卸町68

☎0198(26)4211

株式会社恒和薬品

〒020-0891 岩手県紫波郡矢巾町流通センター南4-10-2

☎019(639)0755

株式会社ショウエー岩手県ブロック

〒020-0122 岩手県盛岡市みたけ2-7-15

☎019(641)4455

株式会社白石薬店

〒029-0803 岩手県一関市千厩町千厩字町37

☎0191(52)3138

株式会社スズケン岩手

〒020-0125 岩手県盛岡市上堂4-5-1

☎019(641)3311

千秋薬品株式会社盛岡支店

〒020-0161 岩手県岩手郡滝沢村篠木字上黒畑135-8

☎019(687)4800

株式会社バイタルネット

〒020-0891 岩手県紫波郡矢巾町流通センター南3-1-12

☎019(638)8891



社団法人岩手県薬剤師会は平泉の世界遺産登録再チャレンジを応援します